

有限会社クレスト

Imageing for life

レイアウトソフト マニュアル

2004/9

画像・文字・図形でのイメージ文書作成

ImageLayout マニュアル



キンカ鳥（マークホワイト系）ペア

このカタログはImageLayout Ver2.99で作成、市販のPDF作成ツールでファイル化しております。

AcrobatReader6.00以降でご覧下さい。

目次

(「入門編」マニュアルをご覧ください)

導入編

こんな方はイメージレイアウトをどうぞ	4
イメージレイアウトで何ができる？	4
試しに使ってみる	4
購入までの流れ	4
ダウンロード	5
インストール	7

入門編

新しい文書をつくる	10
文書を保存する	11
前回の文書を画面に表示させる	12
前回の文書を保存する	13
文字枠をつくる	14
文字枠を消す	16
文字枠を移動する	17
文字枠を拡大する	18
文字枠外周線を描画する	19
文字背景に色を付ける	20
文字配置を変更する	21
文字サイズ、色を変更する	22
標準文字を影付文字に変更する	23
四角形枠を隅丸枠に変更する	24
画像を文書に貼り付ける	25
画像だけを保存する	27
画像を拡大・縮小する	28
画像に影を付ける	29
中折れ線をつくる	30
中折れ線に矢印を付ける	31
枠をコピーする	32
複数枠を一つにまとめる(グループ化)	33
背後に隠れている枠を見えるようにする	34
枠を固定し動かないようにする	35
グリッド(用紙縦横のグレー線)を変更する	36
用紙マージン(余白)を変更する	37
ツールバーを移動する	38

目次

Pro編

文字流し込み	4 2
ページを追加する	4 3
ページ番号を付ける	4 4
ページのヘッダ・フッタ	4 5
グラデーションを使う	4 6
線路をつくる	4 7
装飾矢印をつくる	4 8
寸法線を引く	4 9
ボタンをつくる	5 0
名刺をつくる	5 1
アーチ型文字枠をつくる	5 3
ベジェ曲線でハートを描く	5 4
作った図形を部品として保存する	5 5
画像を回転する	5 7
画像を半透明にする	5 8
画像を左右反転する	5 9
画像や図形をトリミングする・標準	6 0
画像や図形をトリミングする・サイズ指定	6 1
画像や図形をトリミングする・図形利用	6 2
図形トリミングでのご注意	6 3
画像や図形をトリミングする・下枠利用	6 4
縮小画像を原画質できれいに印刷する	6 5
サムネイル利用で画像を開く	6 6
画面をキャプチャーする	6 7
マスター文書をつくる	6 9
マスター文書を利用する	7 0
差し込み印刷	7 2
エフェクトで画像を加工する	7 5
マスク画像の作成	7 6
マスク画像の作成(ペン)	7 8
2枚の画像を合成する	7 9

文字流し込み

9 行の原文があります。

秋の彼岸、亡父の墓参りの光景である。
子供の頃遊んだ橋の上から何気なく川面を眺めていたところ、いきなり黒い影が上流から下流へと橋下を飛び抜けた。とっさに「カワガラスだ」と叫んでいた。確か、この川からは子供の頃に消えていたはずである。
何を期待したか、もう一度上流を眺め返した途端、今度はカワセミが来た。水色に輝く小躯が水面に触れそうな高さで橋下を飛び抜ける。そんな様を一望し、不覚にも目頭が熱くなってきた。

高さを縮め、5 行表示としました。その結果、赤矢印が表示されます。

秋の彼岸、亡父の墓参りの光景である。
子供の頃遊んだ橋の上から何気なく川面を眺めていたところ、いきなり黒い影が上流から下流へと橋下を飛び抜けた。とっさに「カワガラスだ」と叫んでいた。確か、この川からは子供の頃に消えていたはずである。
何を期待したか、もう一度上流を眺め返した途端、

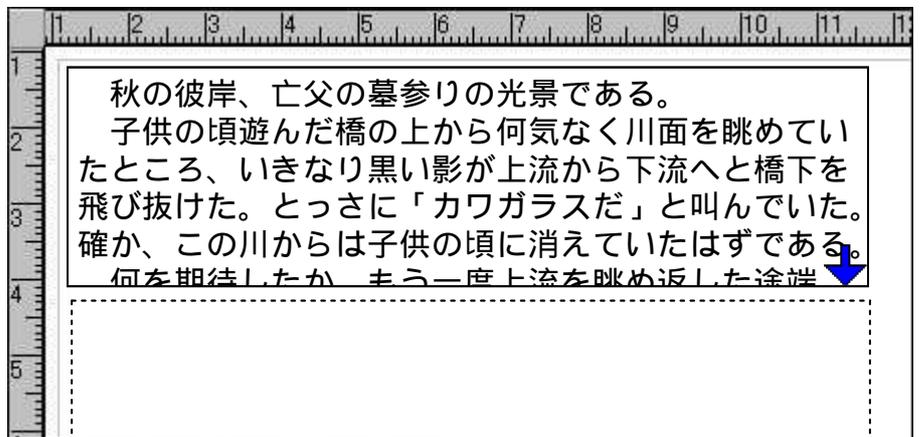
赤矢印をクリックすると青矢印に変化します。

秋の彼岸、亡父の墓参りの光景である。
子供の頃遊んだ橋の上から何気なく川面を眺めていたところ、いきなり黒い影が上流から下流へと橋下を飛び抜けた。とっさに「カワガラスだ」と叫んでいた。確か、この川からは子供の頃に消えていたはずである。
何を期待したか、もう一度上流を眺め返した途端、

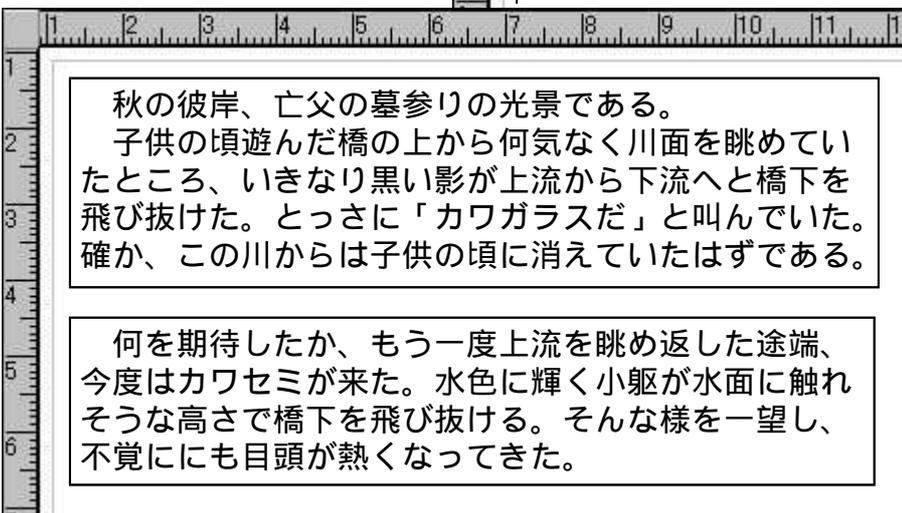
「文字枠の作成」ボタンを選びます。



文字枠矩形を描き、マウスを放すと文字が流れ込みます。



結果
完成しました。



ページを追加する

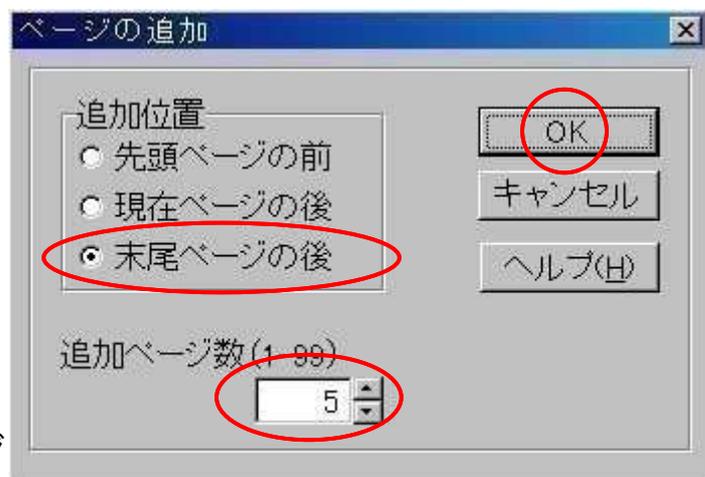
6 ページの文書を作ってみます。

《 < 操作 . . . ページの追加と削除 . . . ページの追加 》 を選びます。



追加位置と追加ページ数を決定。

「OK」ボタンを押します。



結果

ページ数が6に増えました。現在は6ページの中の1ページが表示されています。



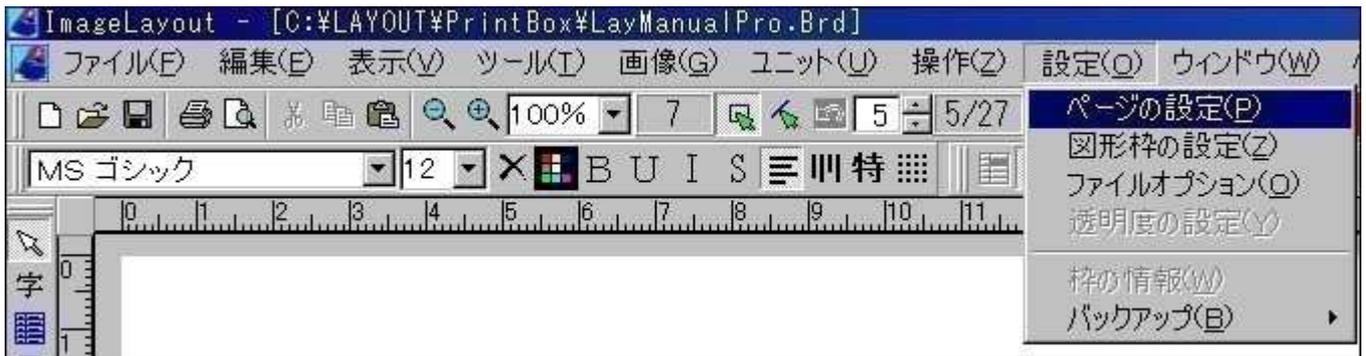
ヒント

キー操作 . . . [PageDown] で次ページ、[PageUp] で前ページ。

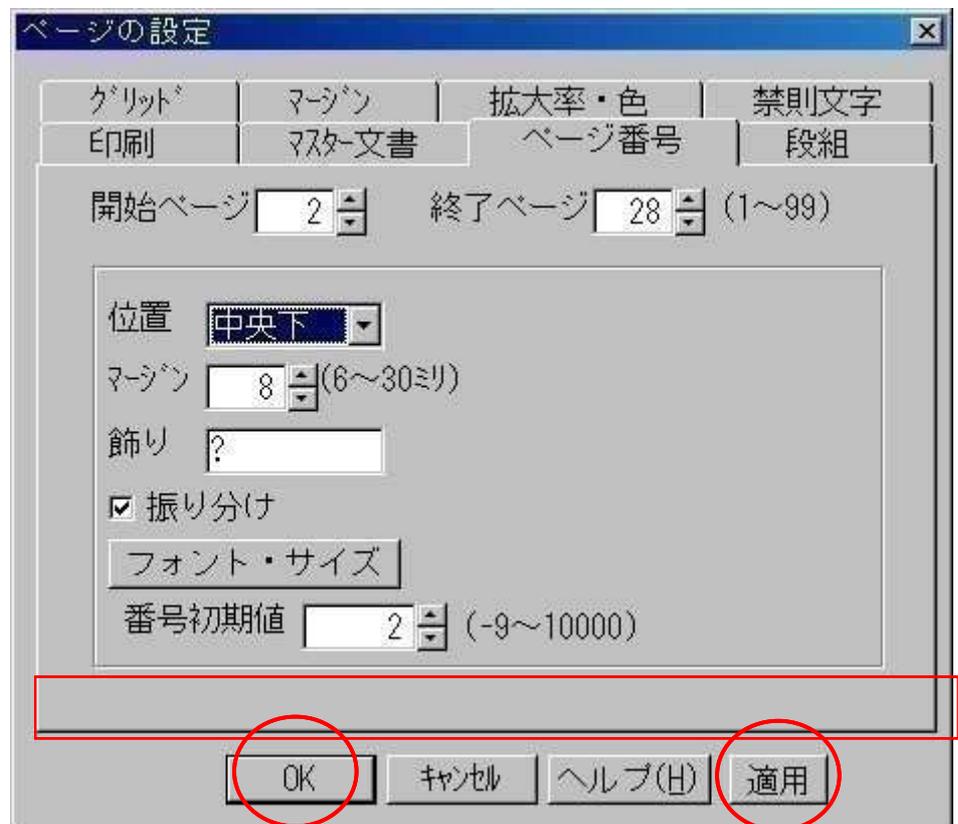
[Shift] + [End] で最終ページ、[Shift] + [Home] で先頭ページ。

ページ番号を付ける

《設定 . . . ページの設定》を選びます。



ページ番号の設定完了後、「摘要」ボタン、「OK」ボタンの順で押します。



結果

ページ番号が作成されました。



ヒント

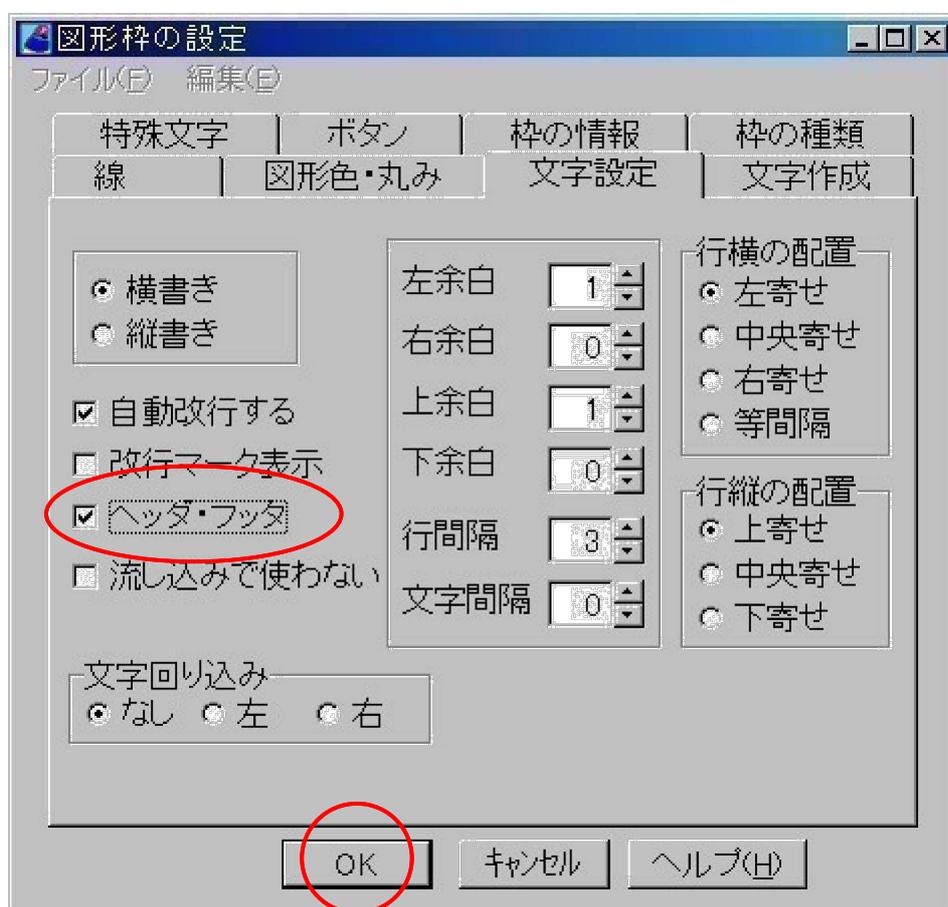
ページ飾り -?- の場合-2- となります。

ページのヘッダ・フッタ

文字枠に黒子を表示させ「文字間隔や余白を設定」ボタンを選びます。

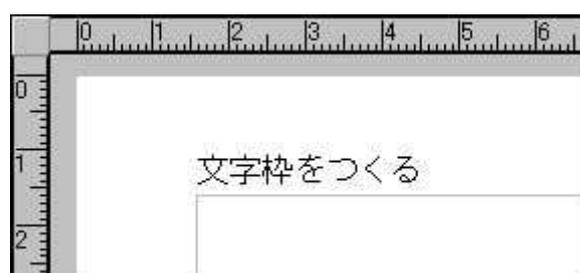


「ヘッダ・フッタ」にチェックを入れ「OK」ボタンを押します。



結果

余白外に移動できるようになりました。



ヒント・・・入門編「枠を固定し動かないようにする」をご覧ください。

グラデーションを使う

文字背景にグラデーションを使ってみます。

文字枠に黒子を表示させ、《編集．．．グラデーション》を選びます。



各設定を変更し「OK」ボタンを押します。

- ・「種類」を変更するとグラデーションスタイルが多様に変化します。
- ・通常2色ですが中央色を使うと3色となります。ただし「中央色を使う」にチェックを入れないと3番目の色選択ができません。
- ・「方向ボタン」では色順番が変化します。

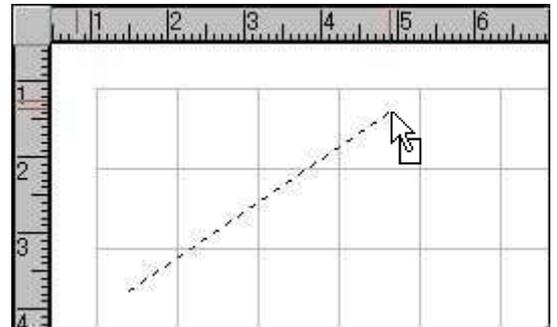


線路をつくる

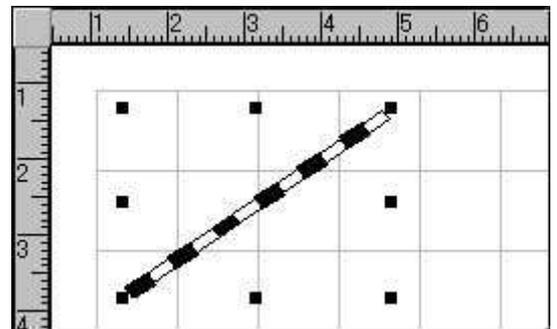
作成ツールバーで「線路を作成」ボタンを選びます。



線を引きます。



結果・・・線路が完成しました。
次に駅をつくります。

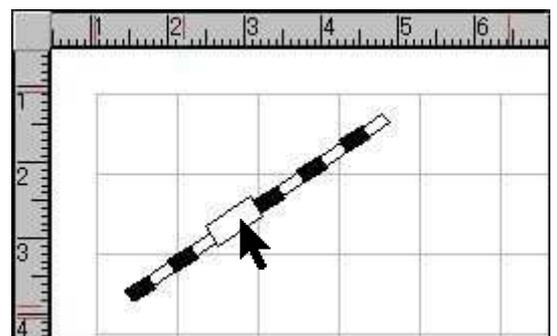


《操作定・・・線路と駅・・・
駅の作成》を選びます。マウスカーソルが黒色に変化します。



マウスで線路をクリックするとクリックした位置に駅が作成されます。

- ・ 駅の数だけクリックして下さい。
- ・ [Esc] キー又は余白クリックで作成完了となります。



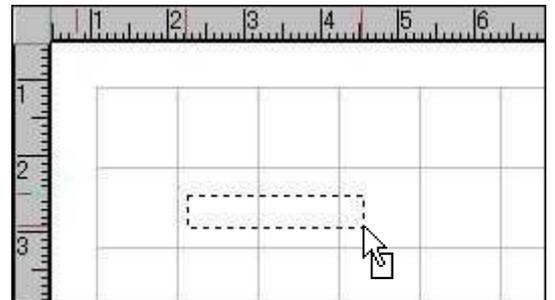
装飾矢印をつくる

右方向への矢印を作成してみます。

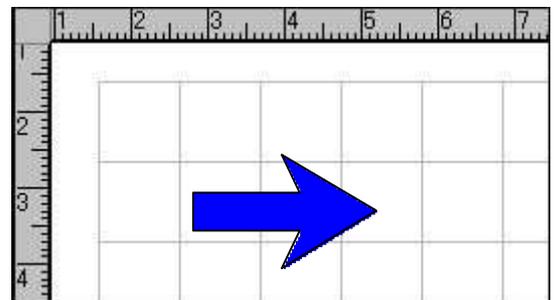
作成ツールバーで「装飾矢印」ボタンを選びます。



〔Shift〕キーを押したままで右方向への長方形を描きます。下方向矢印は下へ引いて下さい。〔Shift〕キーを押さないと斜め方向となる場合があります。



マウスを放すと完成です。
長方形のサイズ次第で形状が変化します。



矢印色を変えるには《図形枠の設定 . . . 連続折線》を選びます。



斜め矢印とするには《編集 . . . 左右回転》を利用します。矢印作成時での斜め長方形はコントロールが困難な場合があります。

完成した矢印で黒子をつまんで拡縮すると想定外の異形となります。

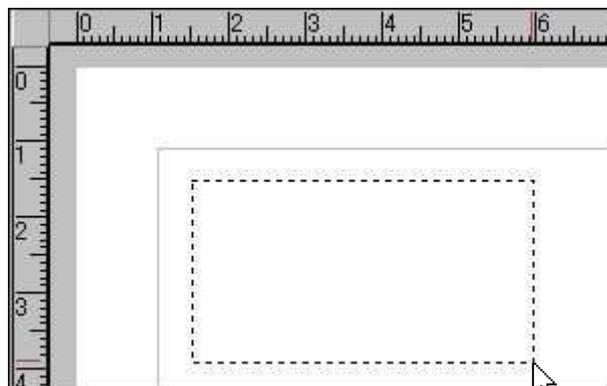
寸法線を引く

現場写真や図面に引く寸法線を作ってみます。

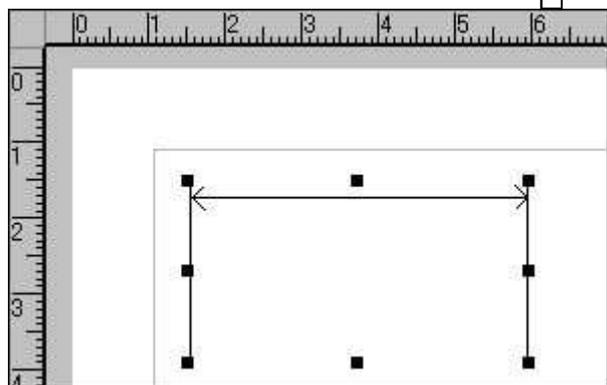
作成ツールバーで「寸法線の作成」ボタンを選びます。



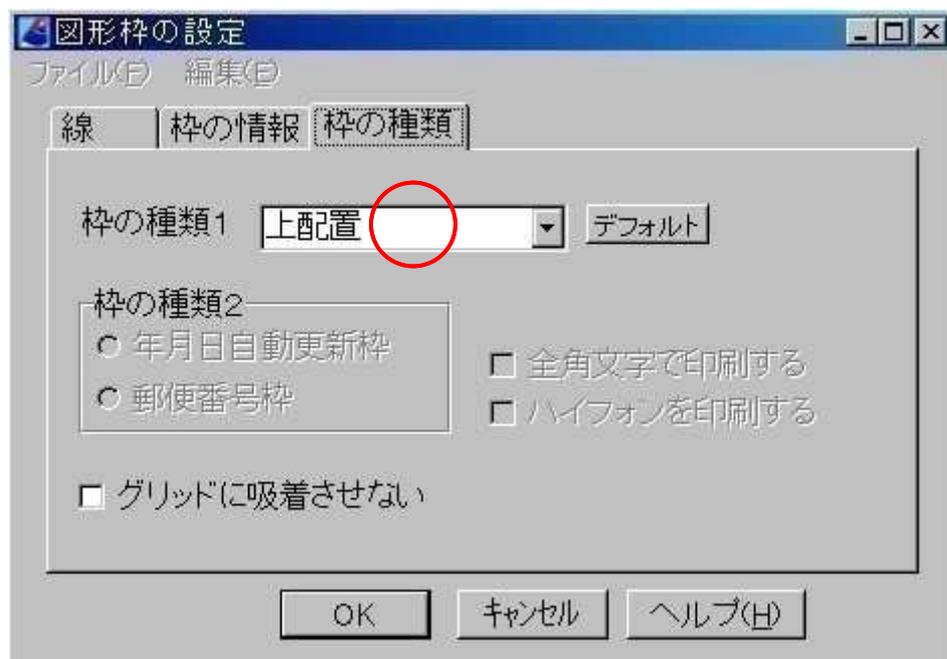
右方向への長方形を描きます。



マウスを放すと完成です。



「枠の種類1」を変更すると左右配置や下配置に変更できます。



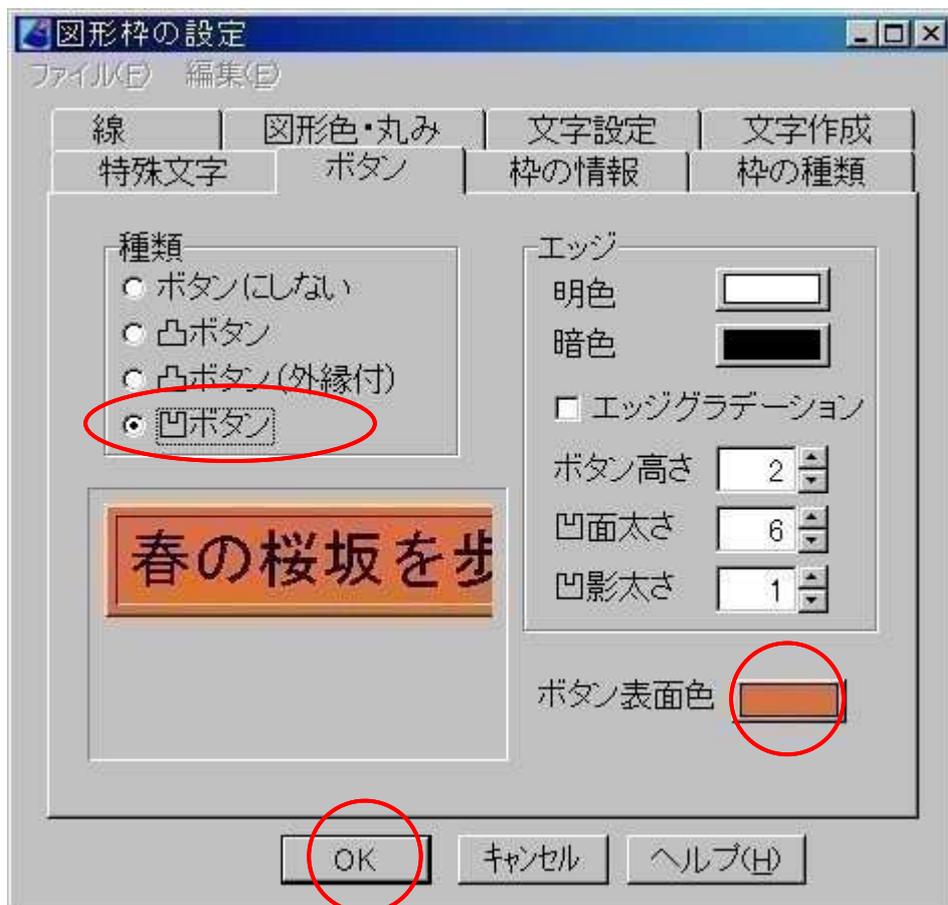
線の色や太さを変更するには《設定 . . . 図形枠の設定 . . . 線》を利用します。

ボタンをつくる

文字枠に黒子を表示させ《設定．．．図形枠の設定．．．ボタン》を選びます。

赤丸の2ヶ所だけ
を変更してみました。

「OK」ボタンを押
します。



結果．．．凹ボタンが完成しました。

【変更前】

春の桜坂を歩く



【変更後】

春の桜坂を歩く

文字色を変更後「標準影」を付けました。

参照

入門編．．．「文字サイズ、色を変更する」入門編
．．．「標準文字を影付文字に変更する」

春の桜坂を歩く

背景を3色グラデーションとしました。

参照

Pro編．．．「グラデーションを使う」

春の桜坂を歩く

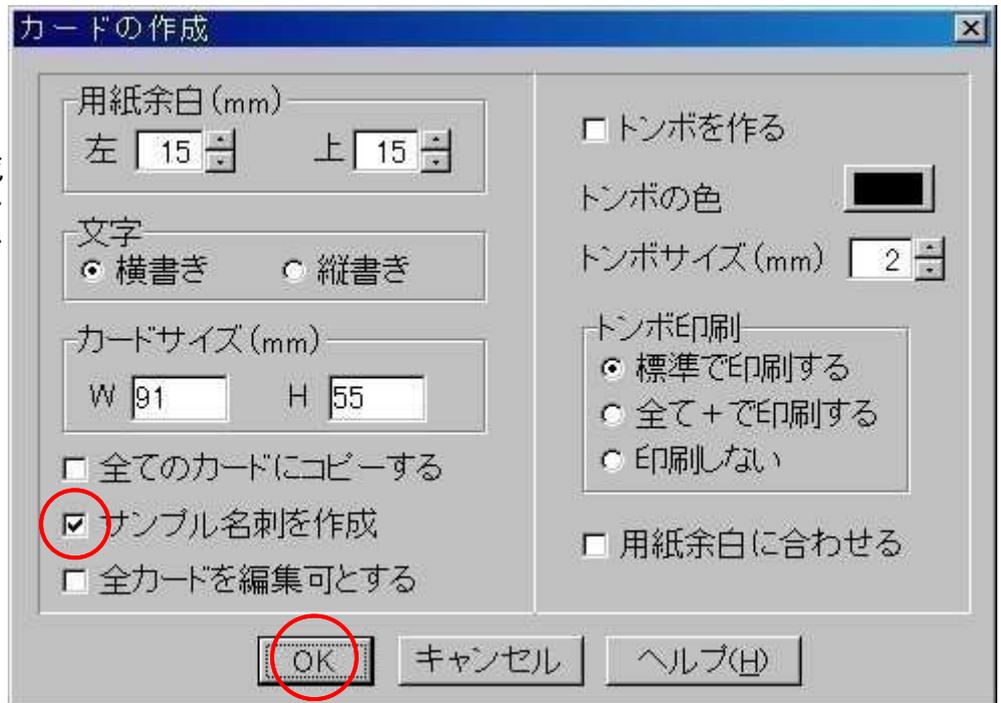
名刺をつくる

最もお手軽な手段で作ってみます。

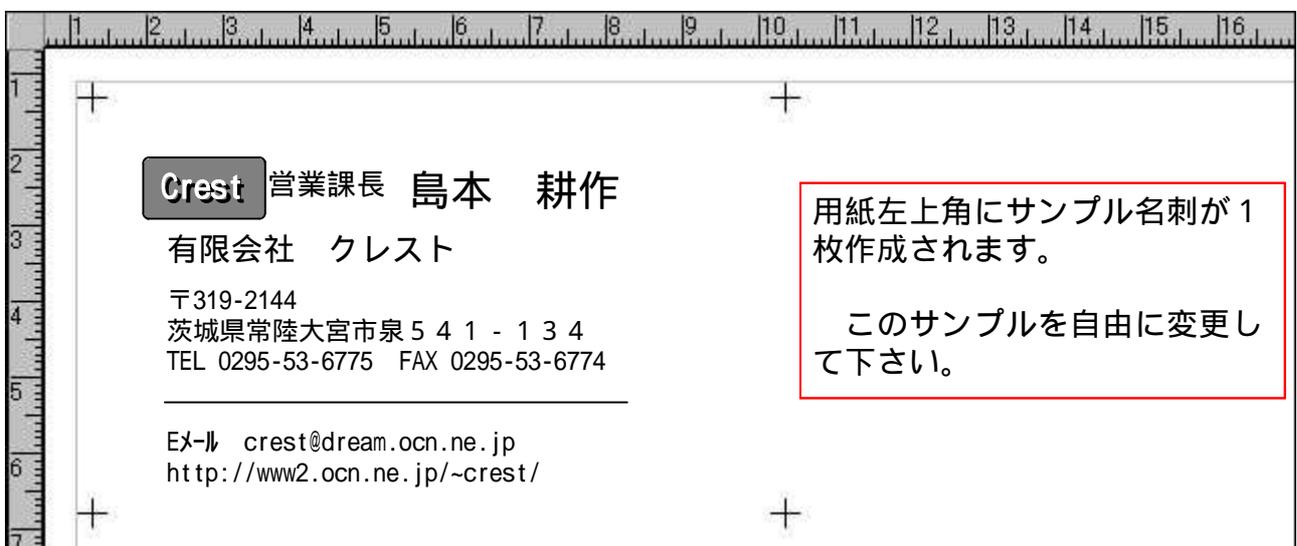
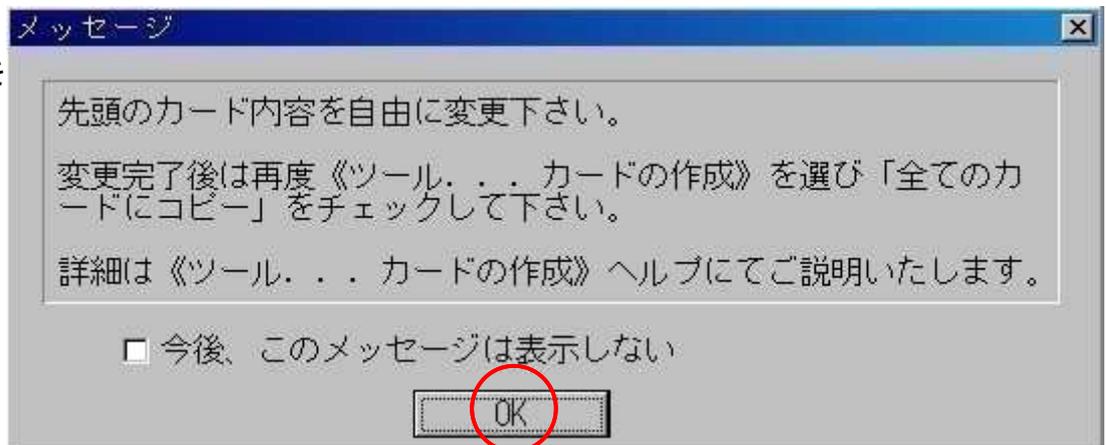
「カードの作成」を選びます。

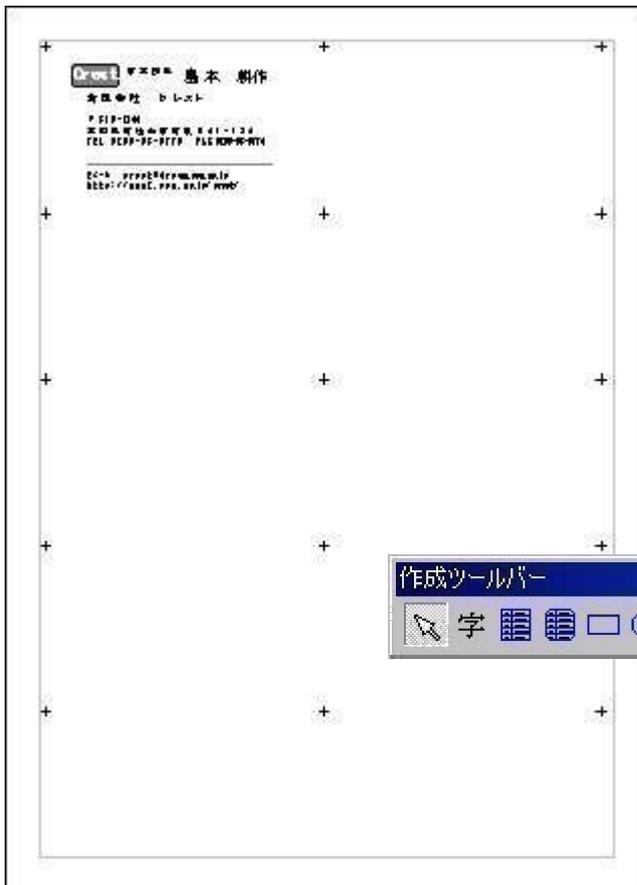


「サンプル名刺を作成」にチェックあることを確認して「OK」ボタンを押します。



「OK」ボタンを押します。





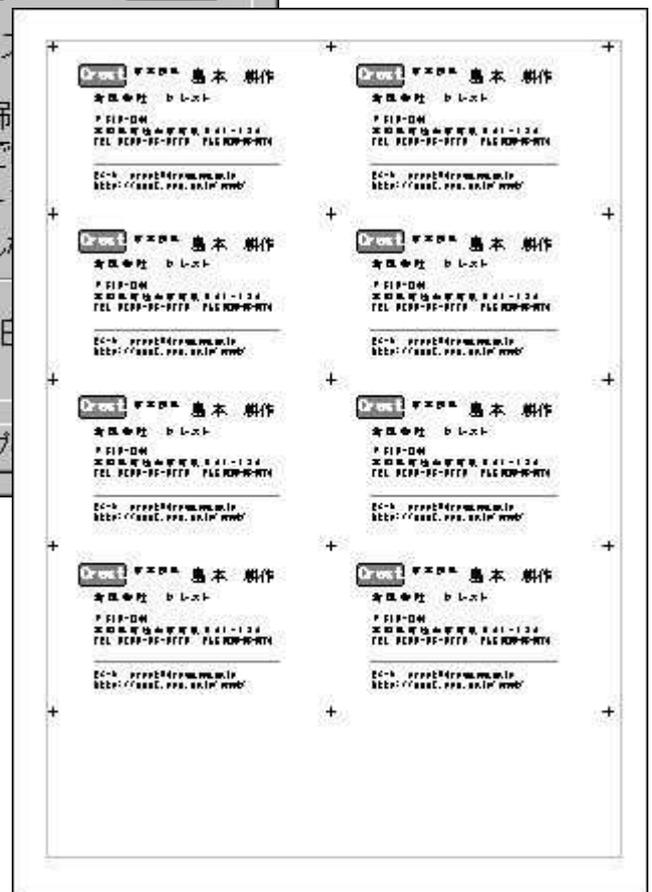
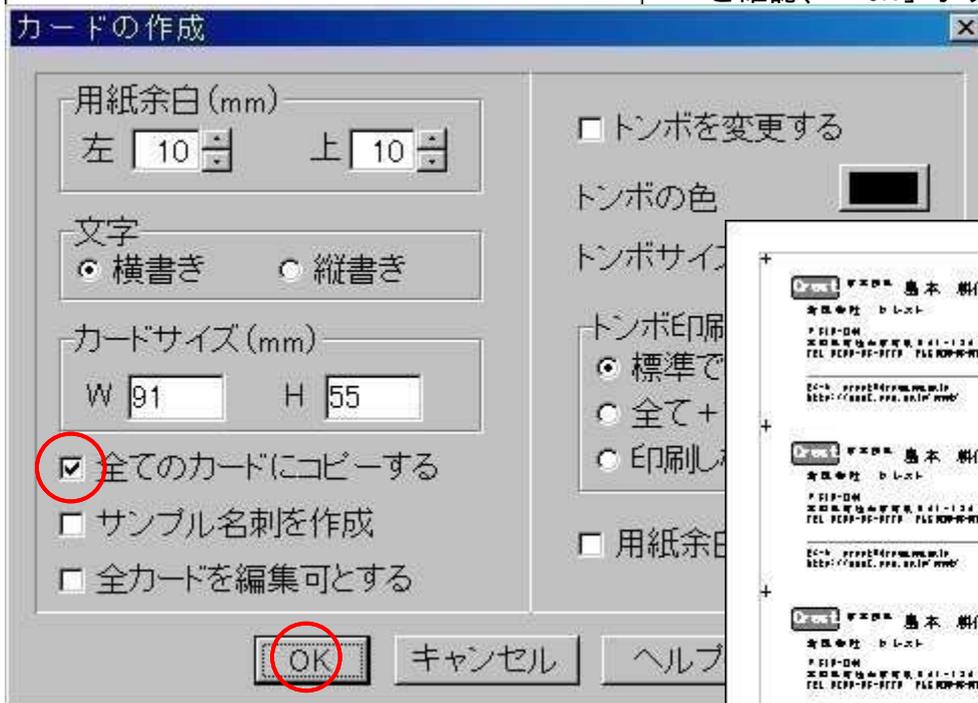
1枚のサンプルを含むレイアウトができました。

次はこの1枚を他の7ヶ所に自動コピーします。

もう一度「カードの作成」を選びます。



「全てのカードにコピーする」のチェックを確認、「OK」ボタンを押します。



結果

8枚の名刺が完成しました。

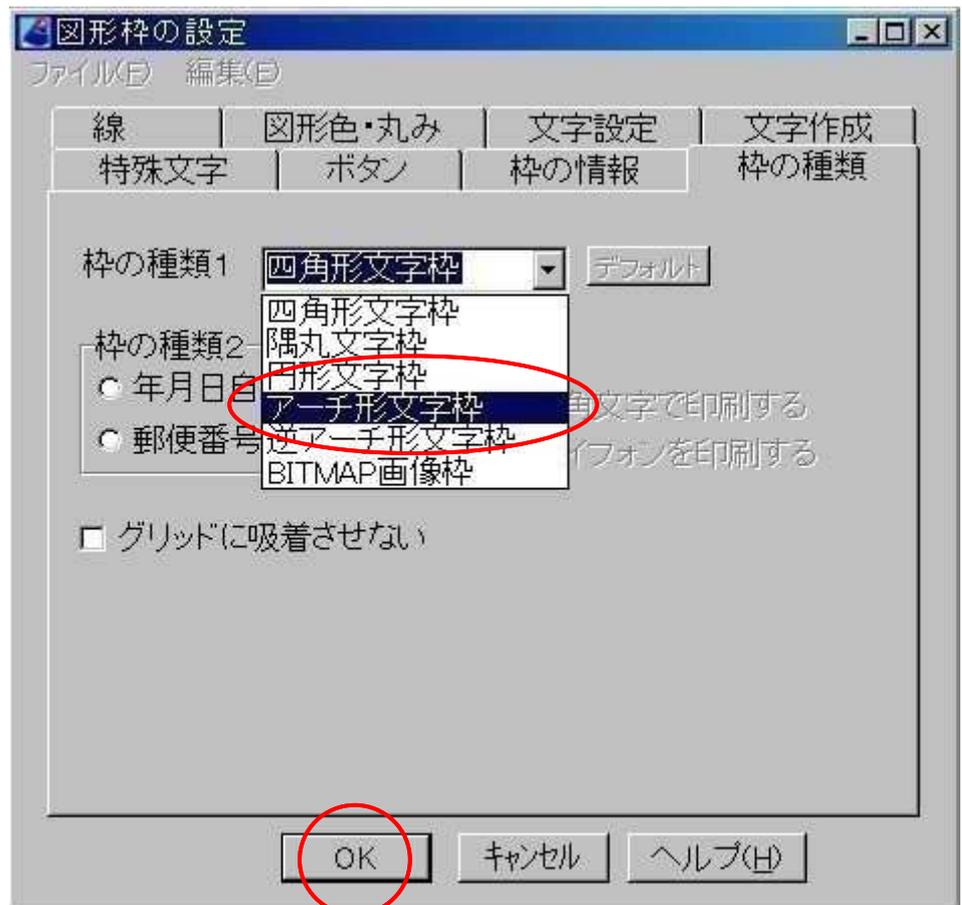
内容的に問題あれば左上角の1枚だけ変更して下さい。

アーチ型文字枠をつくる

文字枠は下余白を十分に確保しておきます。

春の桜坂を歩く

文字枠に黒子を表示させ《設定．．．図形枠の設定．．．枠の種類》を選びます。



「アーチ形文字枠」を選び「OK」ボタンを押します。

結果．．．アーチ形文字枠が完成しました。

春の桜坂を歩く



春の桜坂を歩く

文字色を変更、特殊文字にて「袋文字」を選びました。

春の桜坂を歩く

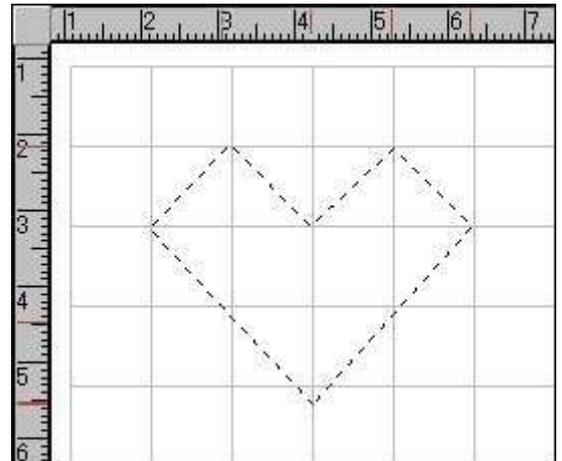
ベジェ曲線でハートを描く

《設定．．．ページ設定．．．グリッドを表示する》をチェックしておくとお操作が楽になります。

作成ツールバーで「ベジェ曲線」を選びます。

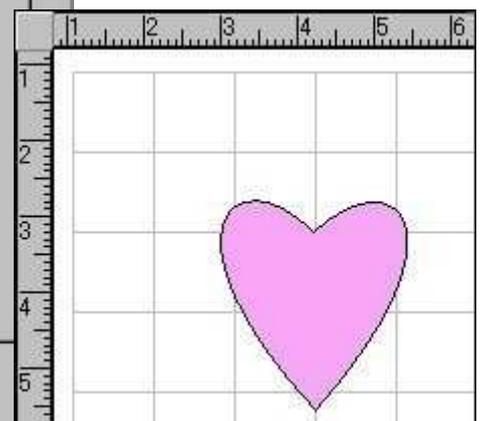
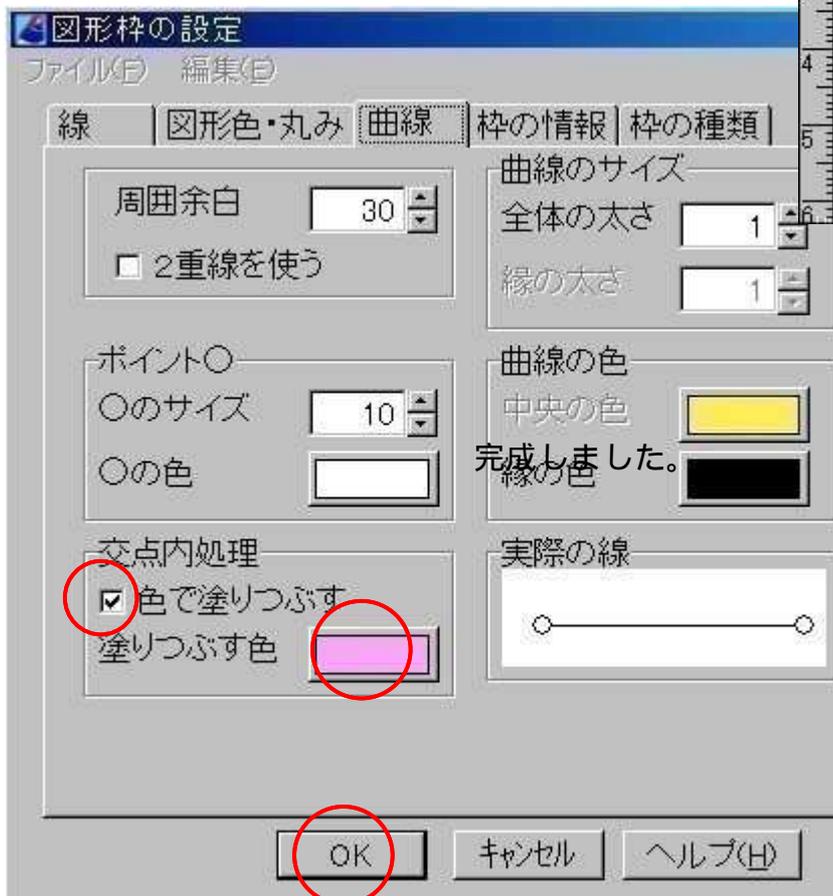
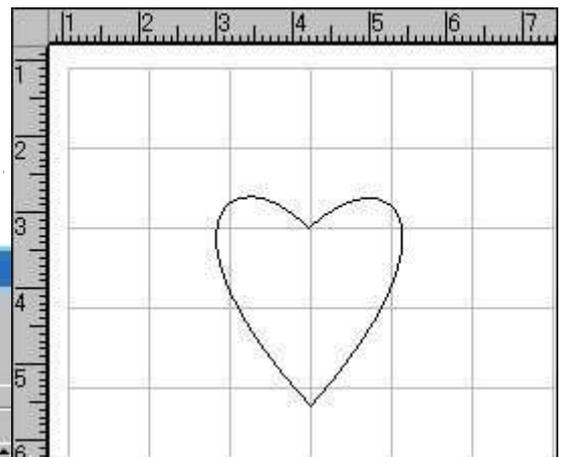


マウスを押します。
マウスを放します。
マウスをクリックします。
"
"
"
マウスをダブルクリックします。



結果．．．色無しハートがつけられました。
次に色を付けます。

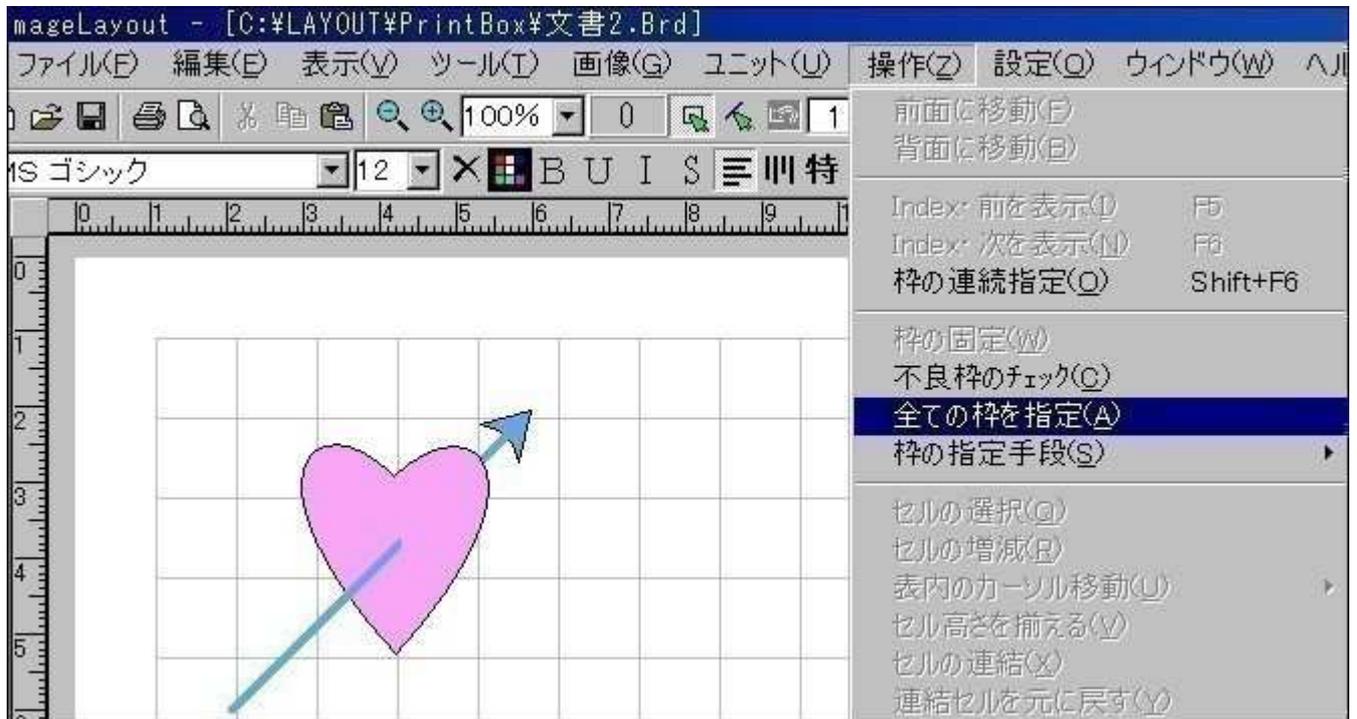
ハートに黒子を表示させ《図形枠の設定．．．
曲線》を選びます。



作った図形を部品として保存する

ベジェ曲線で作ったハートと装飾矢印や直線を組み合わせて部品としてみます。

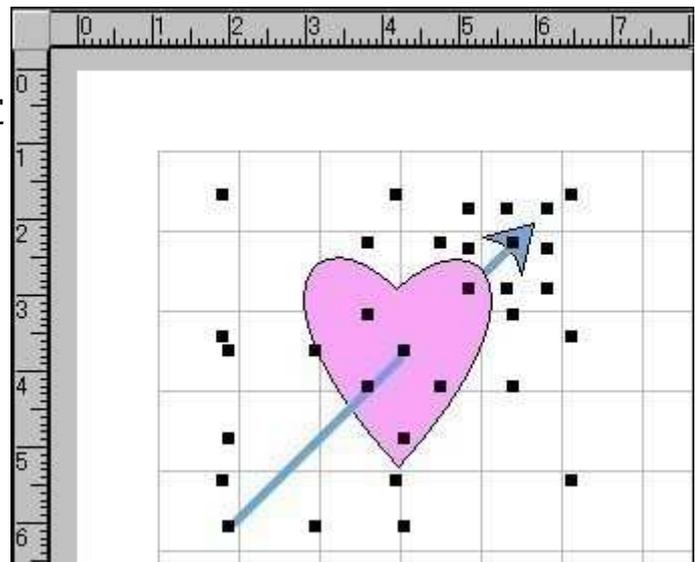
《操作 . . . 全ての枠を指定》を選びます。



結果

ハート、装飾矢印、2本の直線が指定されました。

次ページへ続く



枠指定のヒント

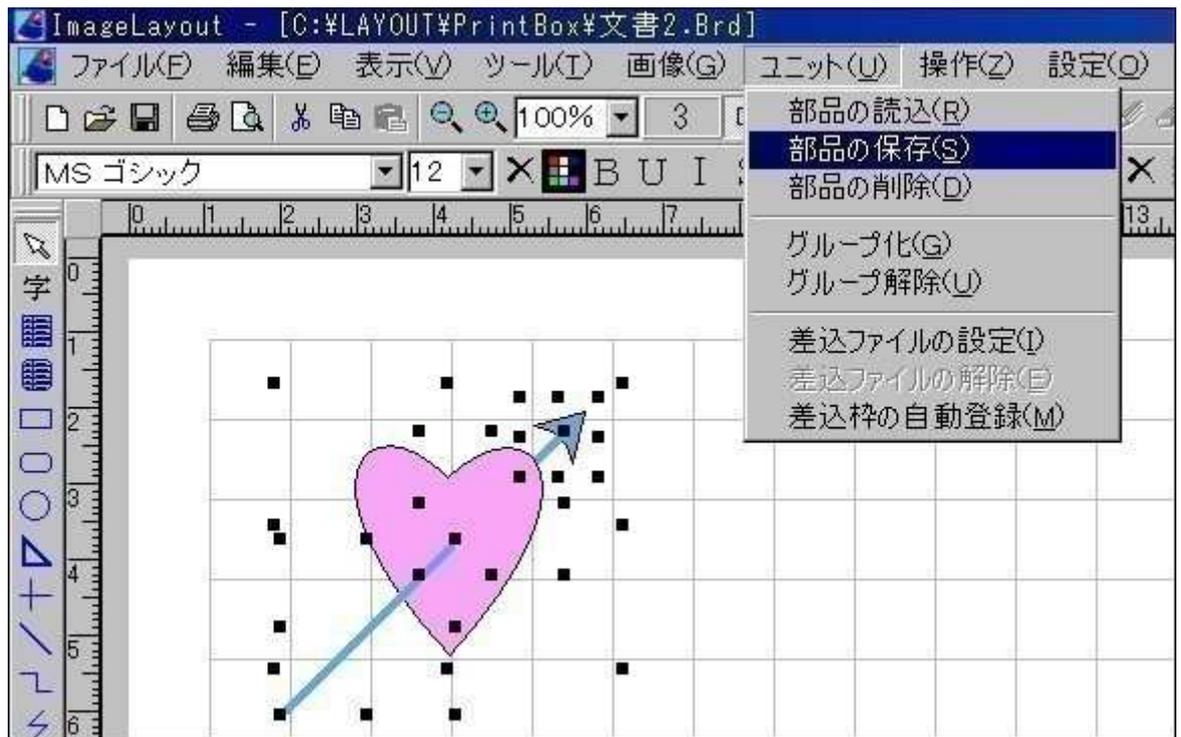
[Shift]+マウスクリックや [Shift]+[F6] でも枠指定が可能です。

指定取り消し

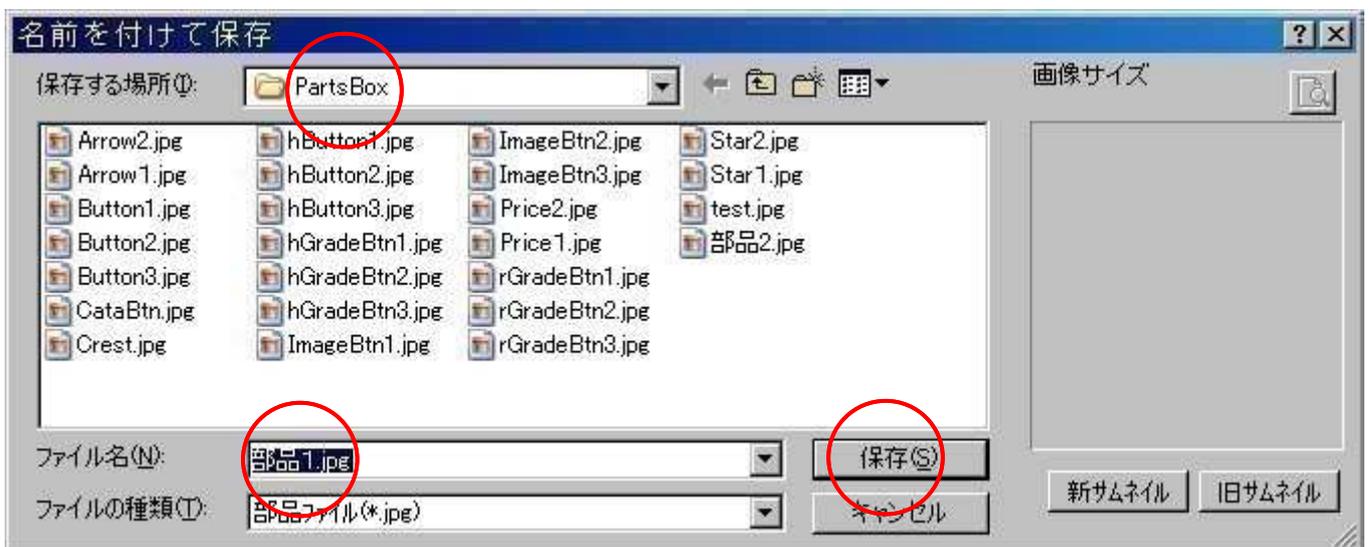
黒子が表示された枠を [Shift]+マウスクリックして下さい。

作った図形を部品として保存する（つづき）

《ユニット．．．部品の保存》を選びます。



保存する場所、ファイル名を決定し「保存」ボタンを押します。



ご注意

保存ダイアログでコピーしてもJPEG画像のみがコピーされ、部品本体はコピーされません。また、削除は《ユニット．．．部品の削除》をご利用下さい。詳細はヘルプにてご覧いただけます。

画像を回転する

画像に黒子を表示させ《編集．．．左右回転》を選びます。



角度を1クリックするとステップ数の5°回転します。
「OK」ボタンで回転画像の完成となります。

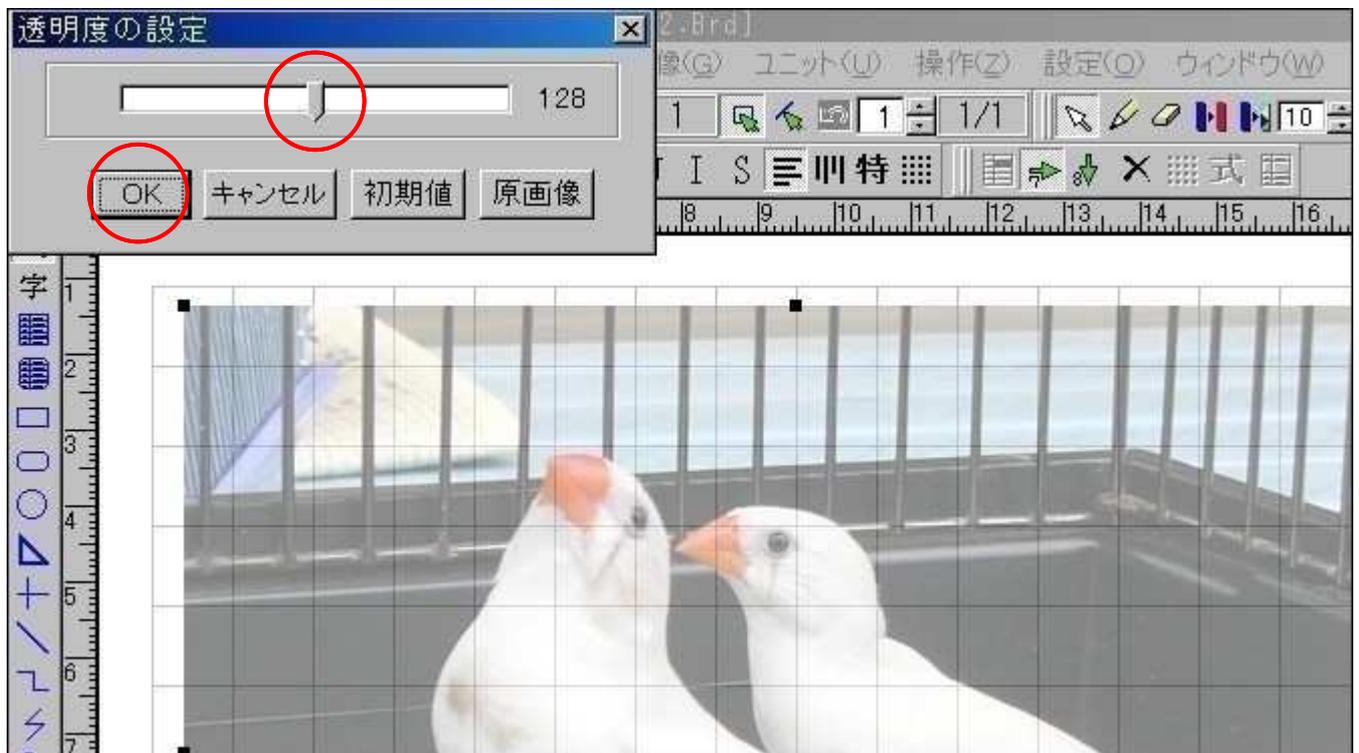


画像を半透明にする

画像に黒子を表示させ《画像．．．透明化．．．半透明画像の作成》を選びます。



「透明度の設定」で濃度を変化させ「OK」ボタンで完成となります。

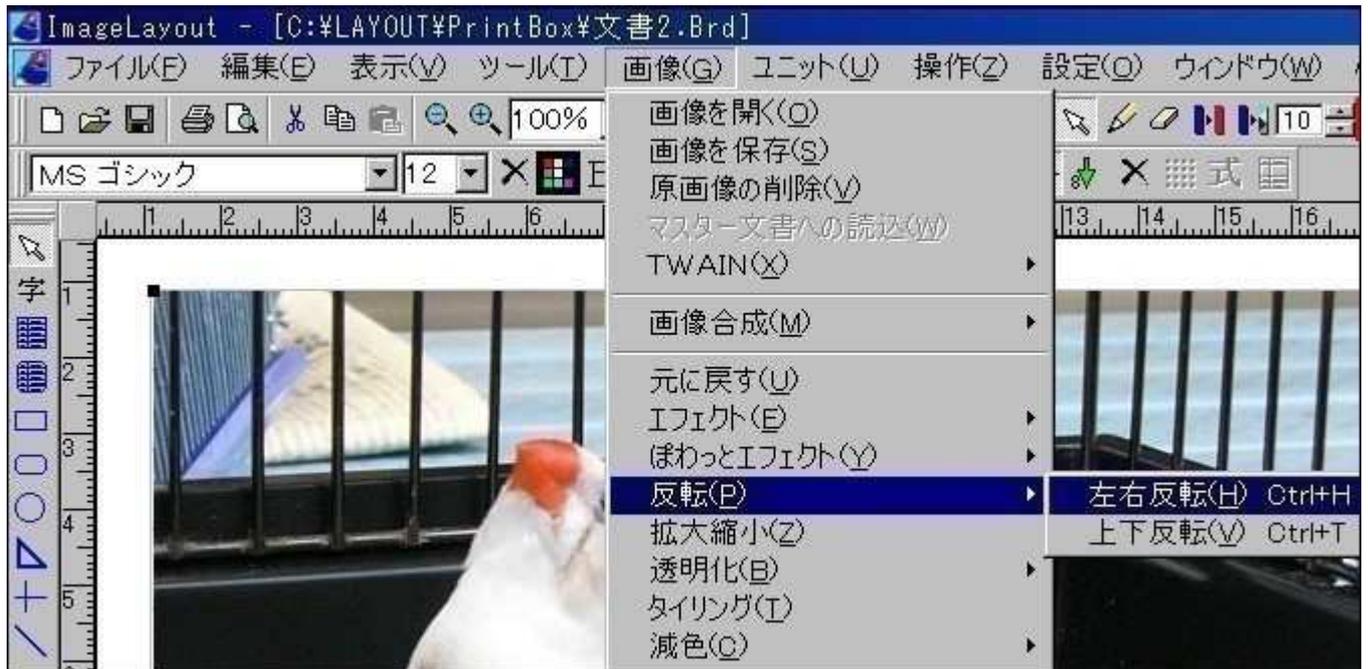


ご注意

ディスクに保存されていない画像は透明化できません。

画像を左右反転する

画像に黒子を表示させ《画像．．．透明化．．．半透明画像の作成》を選びます。



結果．．．左右反転が完成しました。

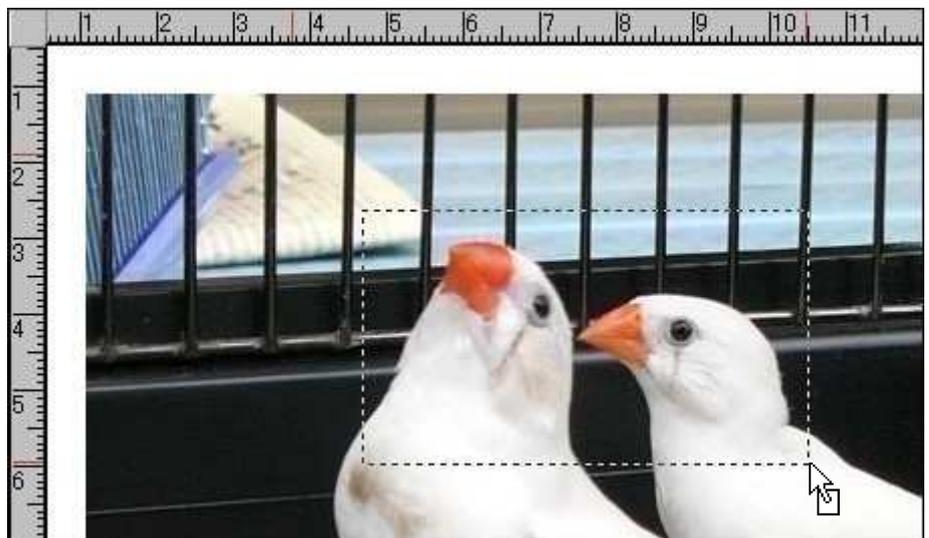


画像や図形をトリミングする・標準

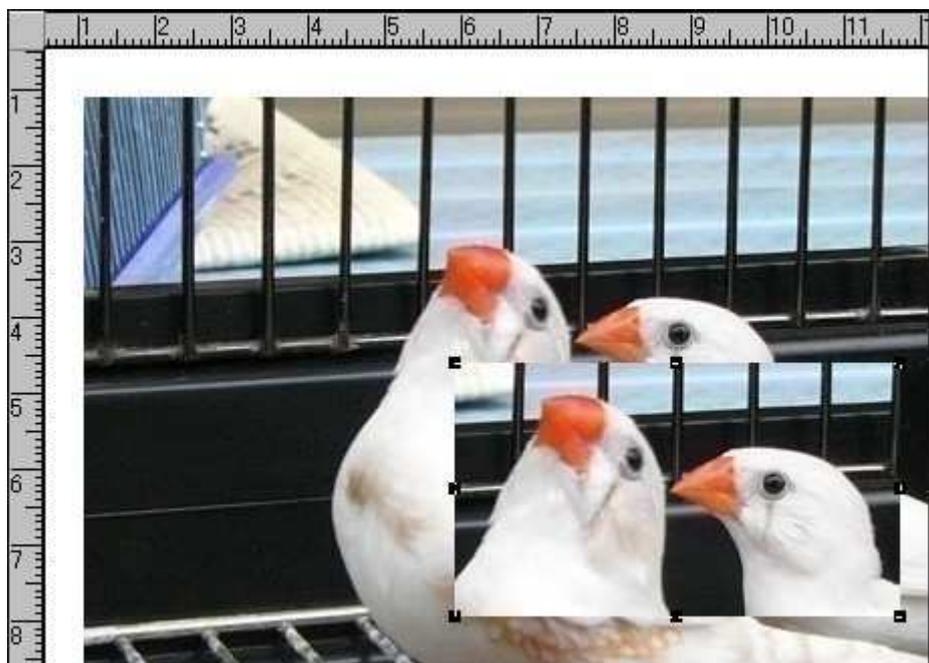
《編集...標準トリミング》
を選びます。



トリミングしたい範囲を矩形で囲みます。



結果...完成しました。

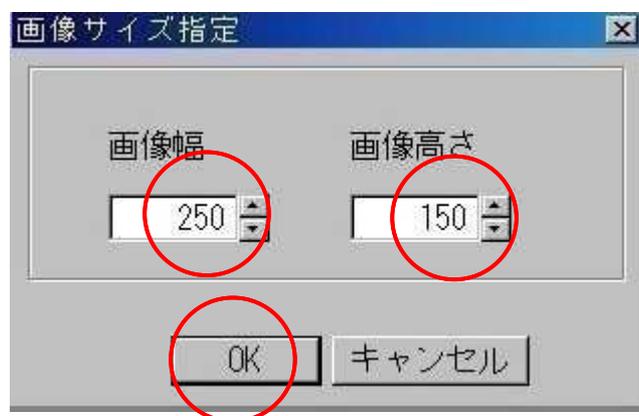


画像や図形をトリミングする・サイズ指定

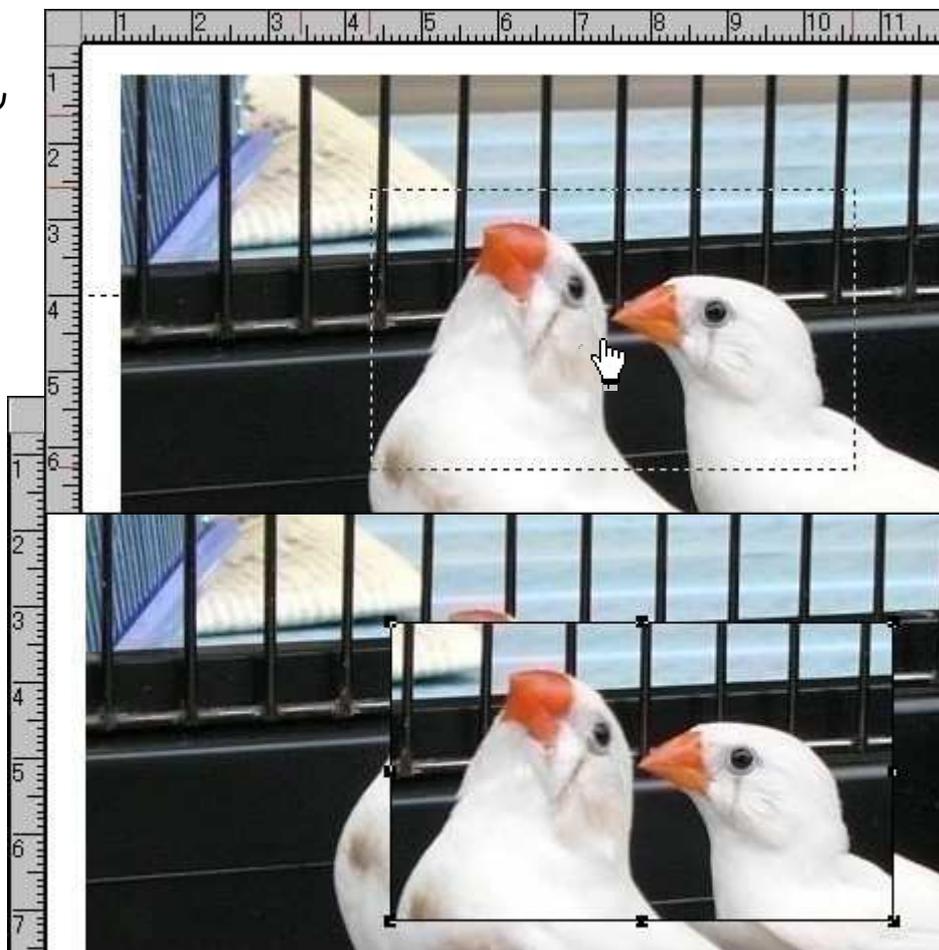
《編集...サイズ指定トリミング》を選びます。



サイズを決定し「OK」ボタンを押します。



好みの位置へ矩形をドラッグします。



結果...完成しました。

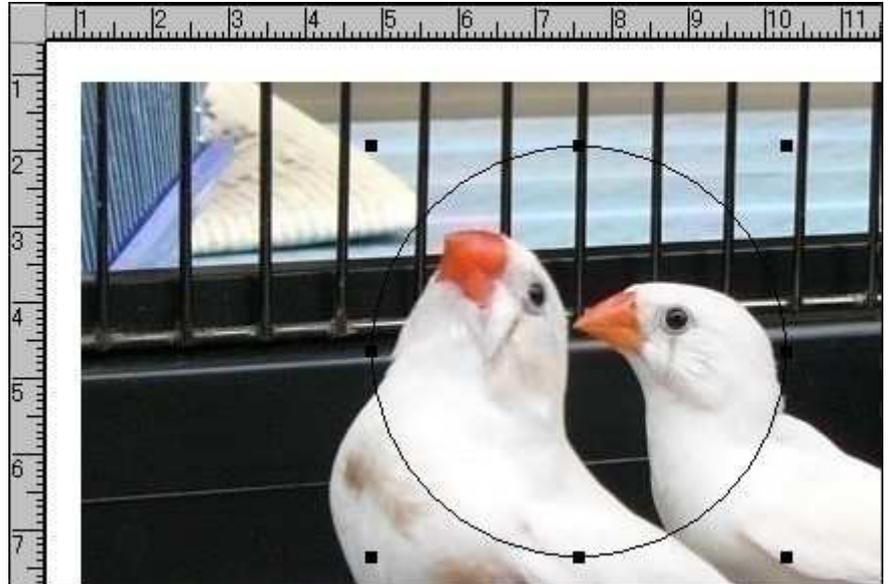
画像や図形をトリミングする・図形使用

円形のトリミングを試みます。

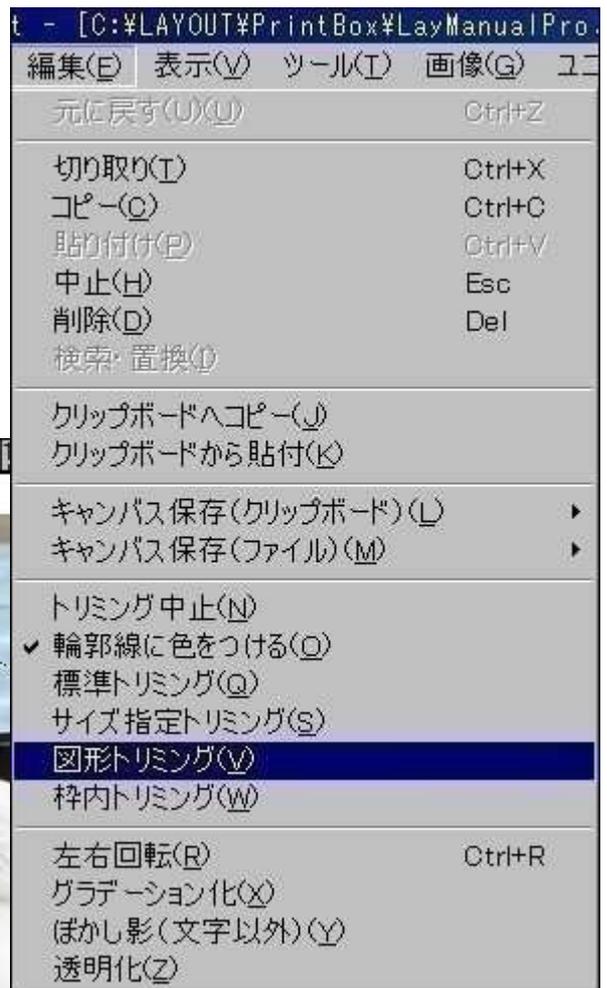
作成ツールバーで「丸」を選びます。



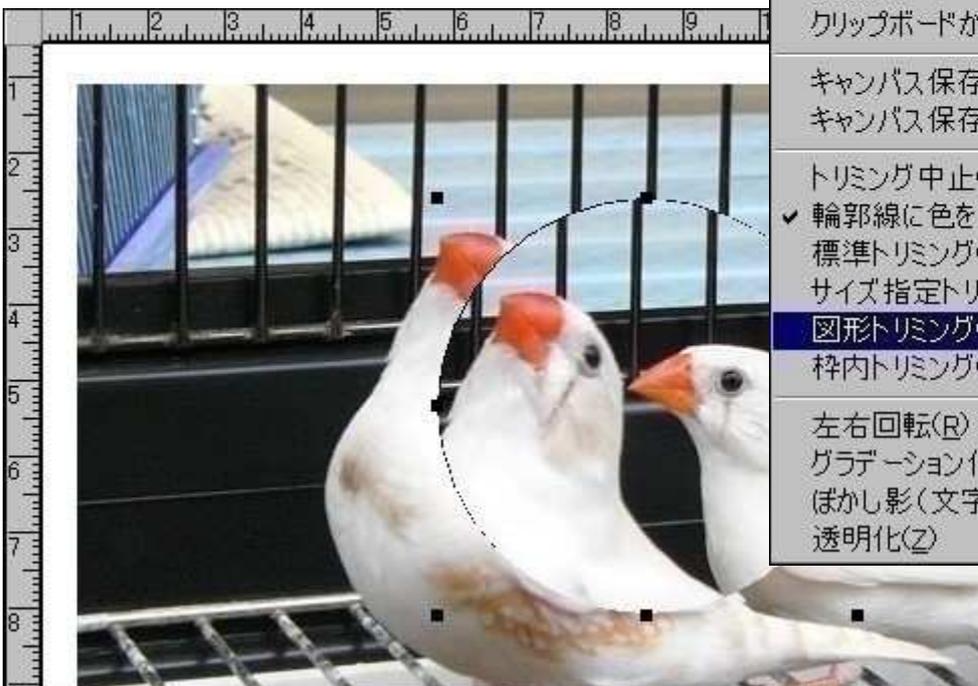
円形を描き、トリミング位置に配置します。



円形に黒子を表示させ《編集... 図形トリミング》を選びます。



結果... 完成しました。



図形トリミングでのご注意

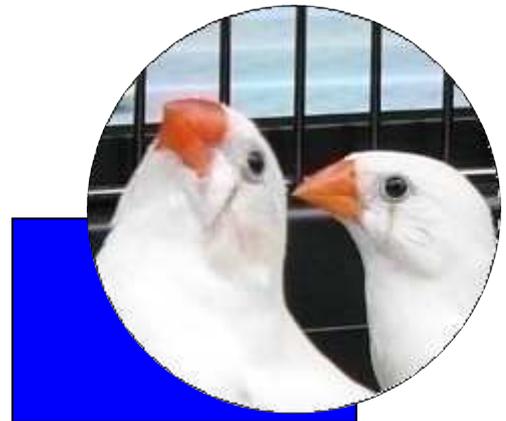
四角形以外の図形を使う場合、透明となる色にご注意下さい。「画像合成ツールバー」の「ペンの色」が透明色となります。



ペンの色が「白」の場合



右の例では純白の部分が透明となってしまいます。従いまして、この画像には存在しない色（赤や緑）を「ペンの色」として下さい。



「ペンの色」を変更するには
画像をクリックし黒子を表示させます。



↑ ここをクリックするとカラーパレットが表示されます。

色を指定し「OK」ボタン
を押します。



ヒント
図形トリミングでは四角形、隅丸四角形、円形、三角形、連続折線、ベジェ曲線、単曲線が利用できます。

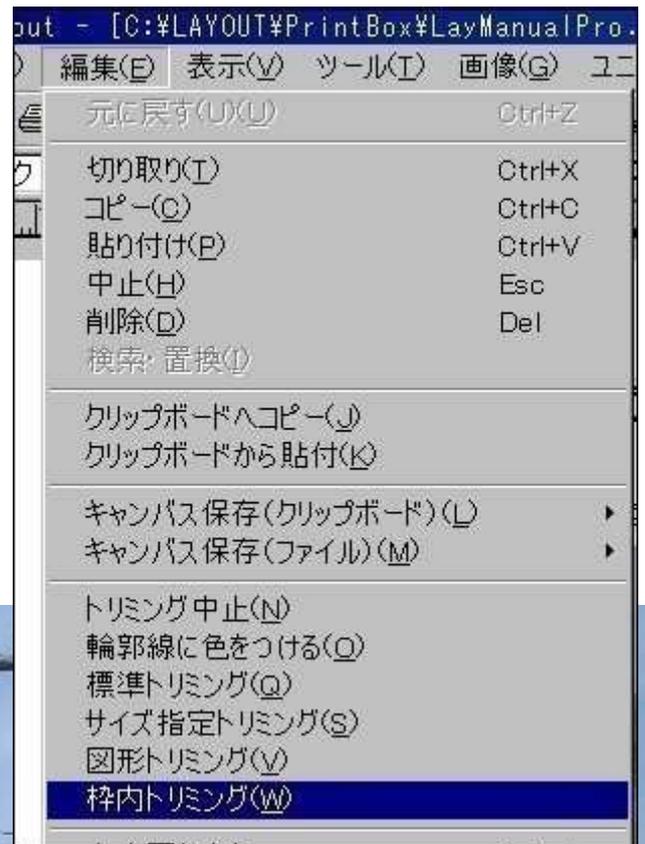
画像や図形をトリミングする・下枠利用

画像の上に文字枠を重ねます。



2002年10月6日
秋の奥日光・戦場ヶ原を歩く

画像に黒子を表示させ《編集... 枠内トリミング》を選びます。

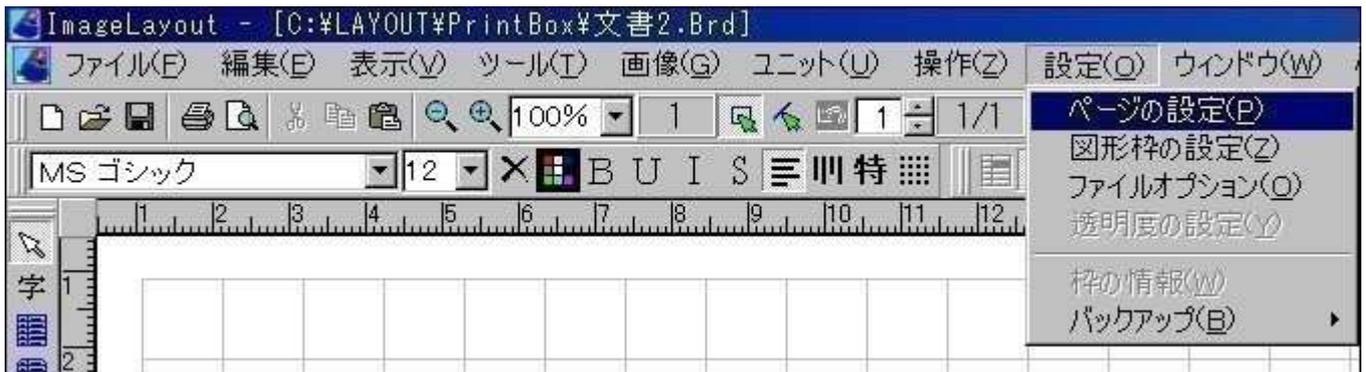


結果・・・完成しました。

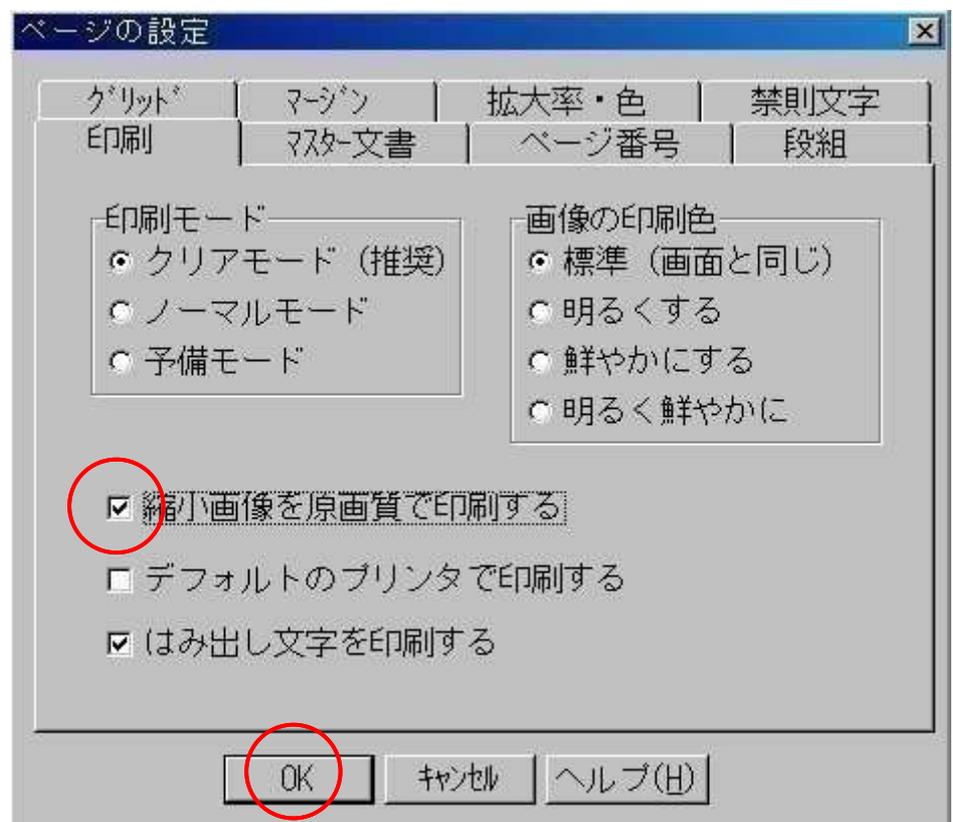


縮小画像を原画質できれいに印刷する

《設定 . . . ページの設定》を選びます。



「縮小画像を原画質で印刷する」をチェック、「OK」ボタンを押します。



ヒント1

複数ページの文書でも現在表示されている1ページだけが変更されます。

ヒント2

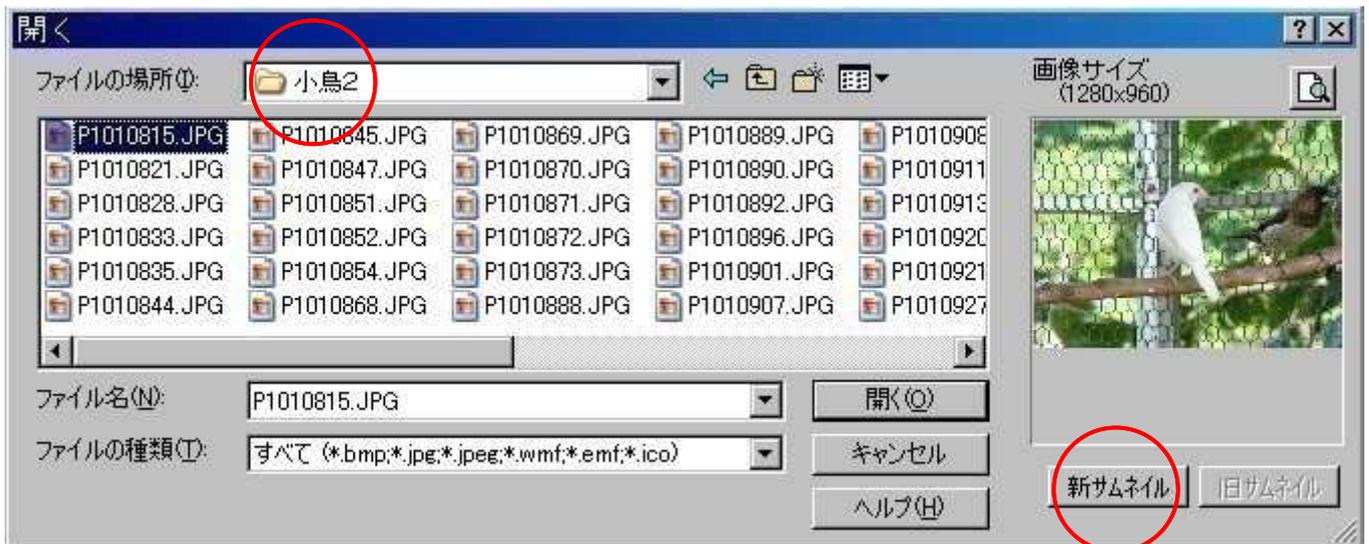
チェックを入れると原画サイズをメモリに置き、さらに文書と共に保存します。従いまして、巨大画像を縮小した場合、メモリやディスクを相応に圧迫しますので複数ページの際はメモリ不足に注意を払って下さい。

サムネイル利用で画像を開く

《画像．．．画像を開く》を選びます。



「ファイルの場所」を選び「新サムネイル」ボタンを押します。



画面に作成中の状況が表示されます。しばらく、お待ち下さい。

サムネイル一覧が表示されますから希望の画像をクリックして下さい。



ヒント

- ・ 2回目からは「旧サムネイル」ボタンを押して下さい。サムネイル画像が瞬時に表示されます。
- ・ 画像のサイズや枚数を設定するには《設定．．．ファイルオプション．．．サムネイル》をご利用下さい。

画面をキャプチャする

デスクトップに表示されたコントロールパネルの一部を画像にしてみます。

コントロールパネルが表示された状態でキーボード右上の〔PrintScreen〕を押します。これで画面全体が「クリップボード」に格納されました。

コントロールパネルのみをキャプチャするには〔Alt〕+〔PrintScreen〕を押して下さい。

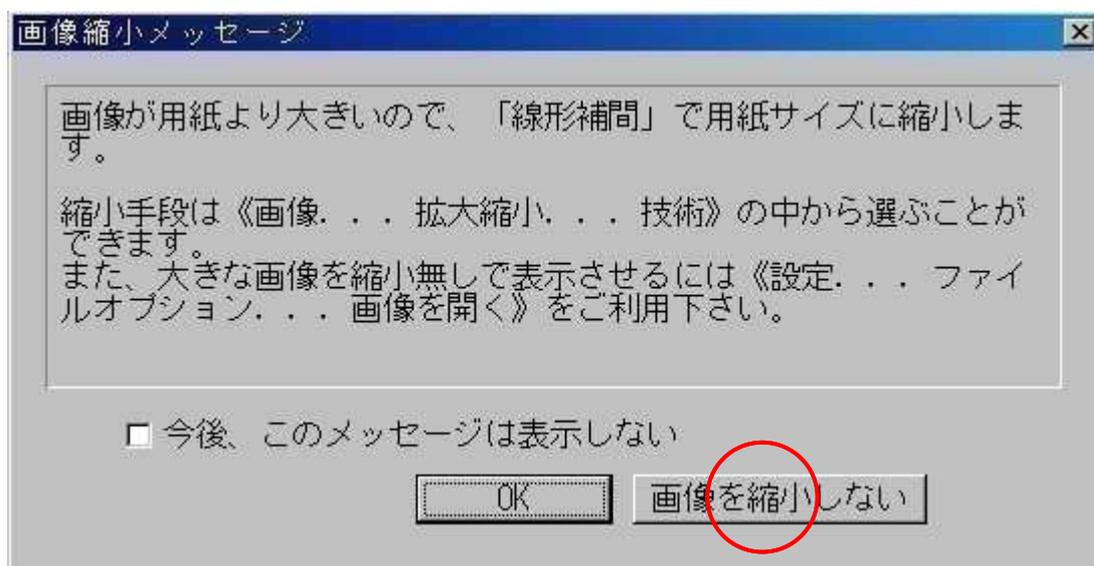


「ImageLayout」を起動しキャプチャー画像を表示したい文書を開きます。

《編集．．．クリップボードから貼り付け》を選びます。



キャプチャー画像が文書サイズより大きい場合、下のメッセージが表示されます。
「画像を縮小しない」ボタンを押します。



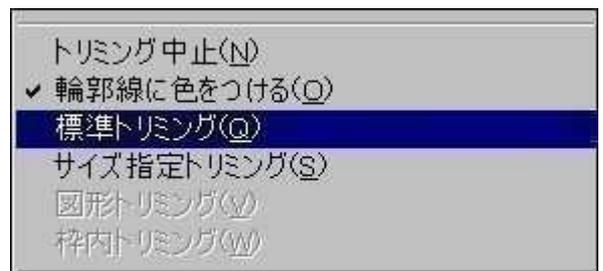
↓
次ページへ
つづく

画面をキャプチャーする（つづき）

デスクトップのキャプチャー画像が表示されました。



- 《編集．．．標準トリミング》でコントロールパネルの一部を切り取ります。
- ・「輪郭線に色を付ける」がチェックされています。
 - ・トリミング詳細は「画像や図形をトリミングする・標準」をご覧ください。



トリミング結果
画像周囲に黒線が付いています。



キャプチャー画像に黒子を表示させ《編集．．．削除》にて消します。

ヒント

「輪郭線に色を付ける」の線色や太さは黒子が表示されていない状態で《図形枠の設定．．．線》で変更します。

マスター文書をつくる

画像を6枚貼り付けたA4マスター文書をつくります。

《ファイル．．．文書の新規作成》を選びます。

参照．．．入門編「新しい文書をつくる」

《画像．．．画像を開く》で画像を1枚貼り付けます。

参照．．．入門編「画像を文書に貼り付ける」

《画像．．．拡大縮小》で350×262に縮小します。

参照．．．入門編「画像を拡大・縮小する」

必要なら文字枠を作ります。

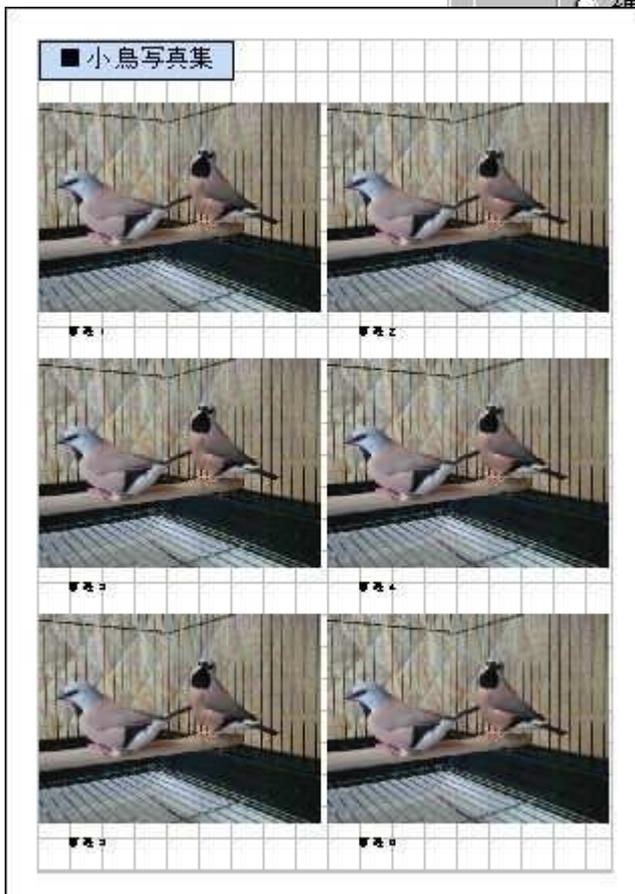
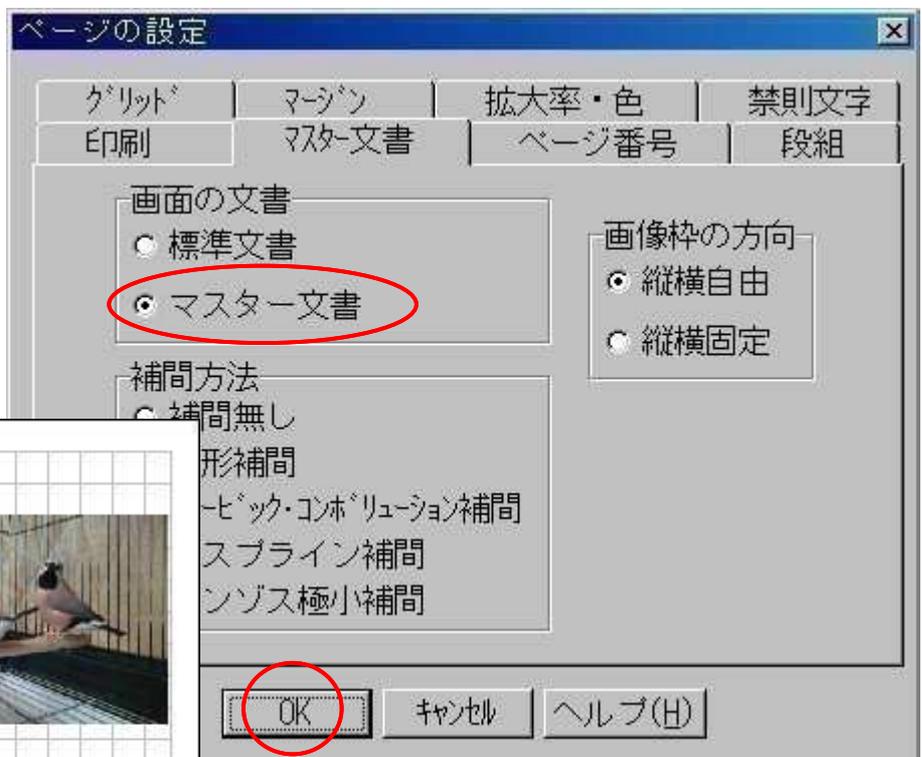
参照．．．入門編「文字枠をつくる」

画像と文字枠に黒子をつけ《編集．．．コピー》を選びます。

参照．．．入門編「枠をコピーする」

《編集．．．貼り付け》を5回繰り返すと6枚の画像が完成します。

《設定．．．ページの設定》でマスター文書を選びます。



《ファイル．．．名前を付けて保存》を選びマスター文書と判断できる名前を付けて保存します。

参照．．．入門編「文書を保存する」

マスター文書を利用する

《ファイル．．．文書を開く》でマスター文書を開きます。

参照．．．入門編「前回の文書を画面に表示させる」

《画像．．．マスター文書への読み込み》を選びます。



サムネイルを画面に表示させます。

参照．．．「サムネイル利用で画像を開く」

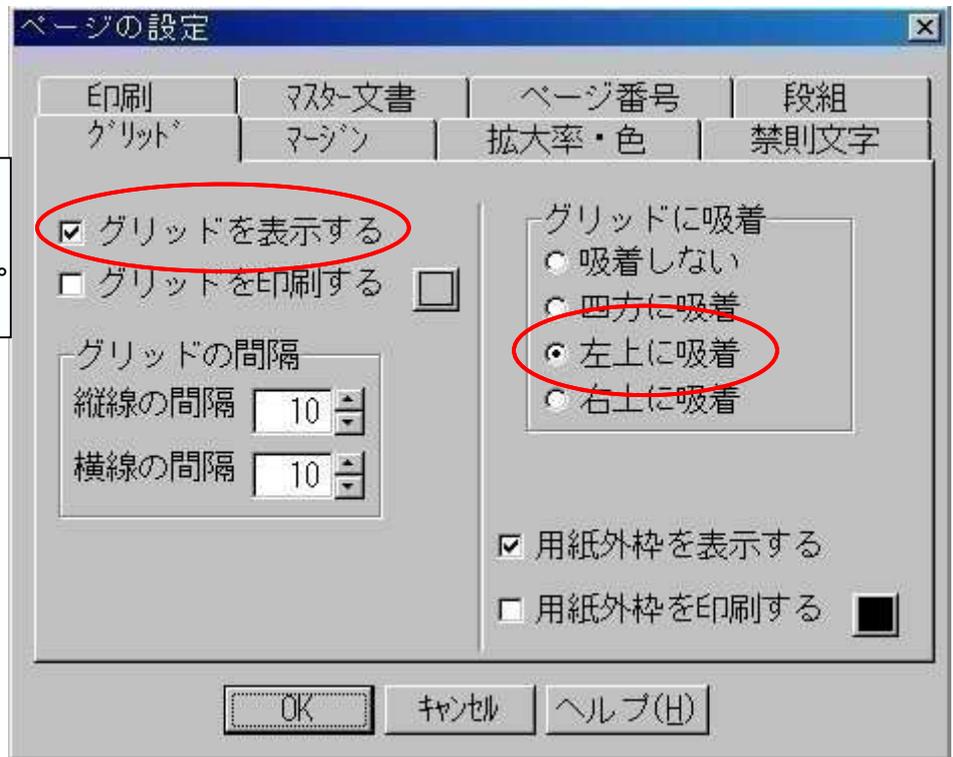
[Ctrl] + マウスクリックで6枚の画像を指定。「OK」ボタンを押します。



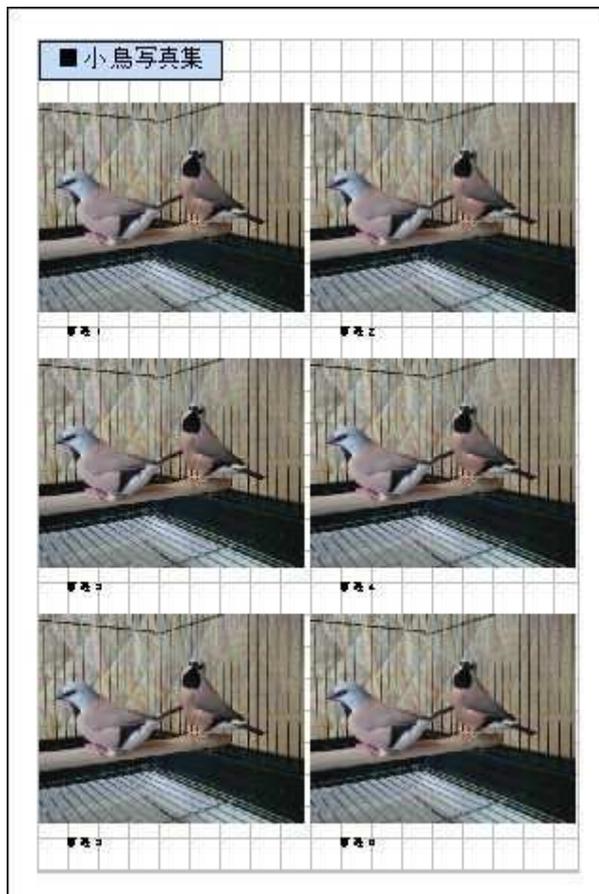
結果

6枚の画像が新しく配置されました。
旧マスター文書の内容は前ページをご覧ください。

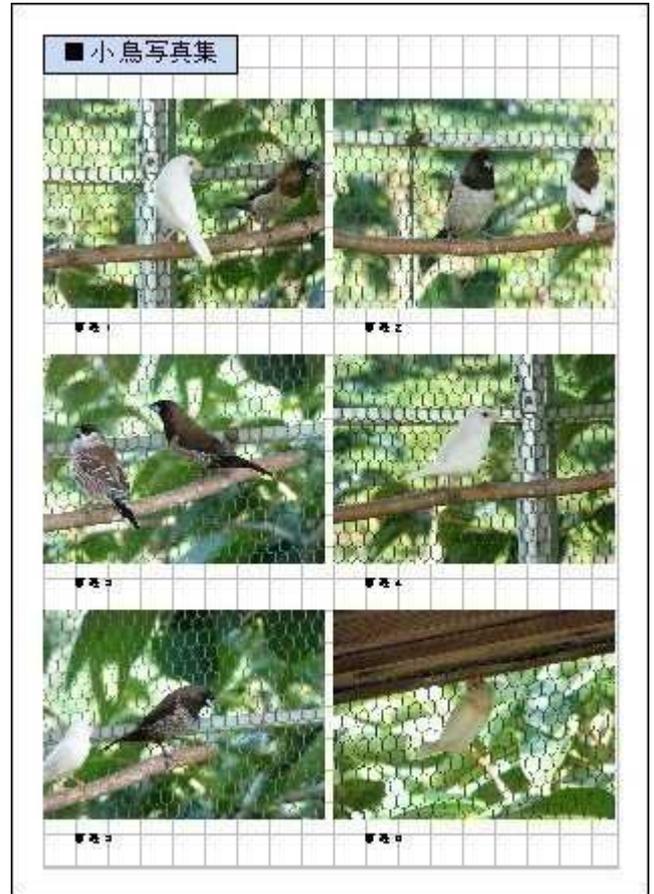
ヒント右の「ページ設定」でマスター文書を作成すると簡単に完成いたします。



【マスター文書】



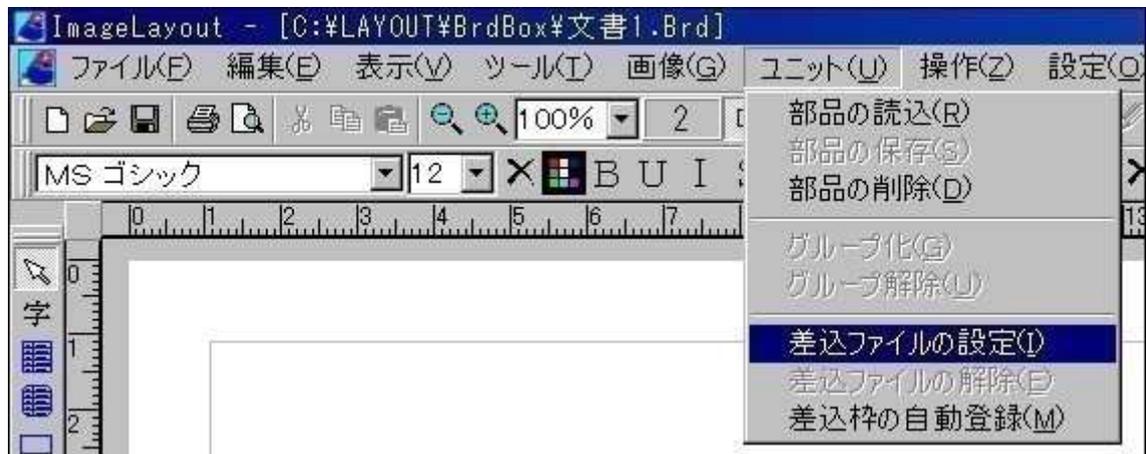
【完成した文書】



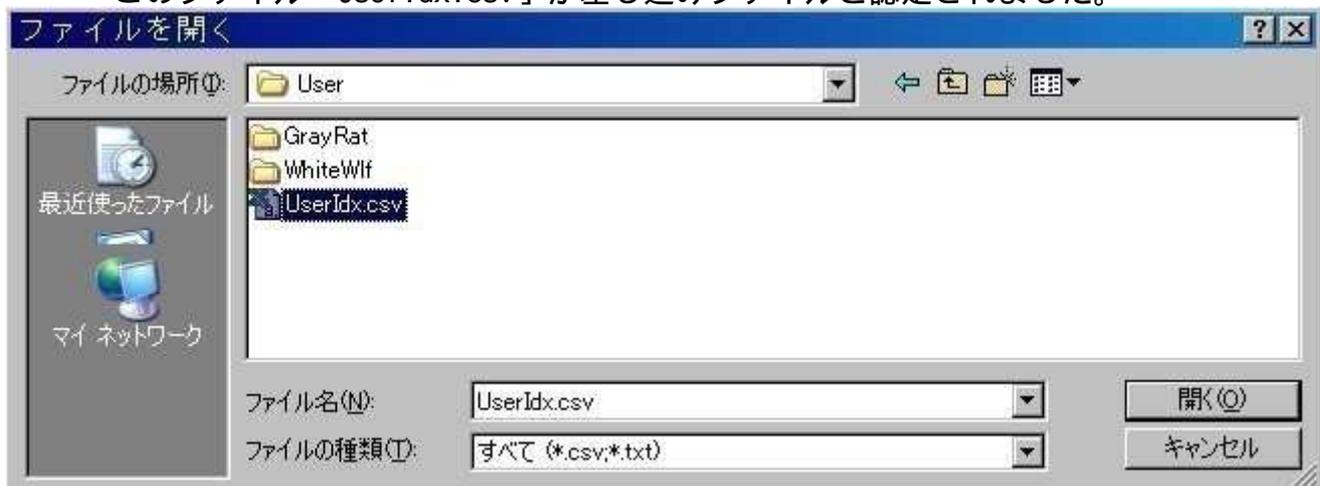
1. 差し込みファイルを指定する

住所録利用の宛名印刷を実行してみます。
 なお、住所録CSVファイルは準備されているものと仮定します。

《ユニット... 差し込みファイルの設定》を選びます。



差し込み用の住所録CSVファイルをクリックします。
 このファイル「UserIdx.csv」が差し込みファイルと認定されました。



UserIdx.csvの内容

No	ユーザー名	コード	〒	住所
1	(有) クレスト	001	319-2144	茨城県常陸大宮市泉 5 4 1
2	小田 勇作	002	382-2215	仙台市青葉区 2 - 1 - 4
3				
4				

差し込み印刷（つづき）

2. 差し込み枠を作成します

《ファイル...プリンタと用紙の設定》を選びます。



中型封筒を選びます。

この中型封筒は前もって用紙登録しておいたものです。



表示された用紙（封筒）に差し込み枠を作成します。

郵便番号枠の作り方

- 1) 四角形を7個作成。
- 2) その上に文字枠を作成。
- 3) 文字枠に「#〒」を入力

住所枠の作り方

文字枠に「#住所」を入力。

名前枠の作り方

文字枠に「#ユーザー名%」を入力。

その他の文字枠

自由に作成下さい。

#住所

#ユーザー名%様

#〒

CDROM在中

Crest

No	ユーザー名	コード	〒	住所
1	(有)クレスト	001	319-2144	茨城県常陸大宮市泉5 4 1
2	小田 勇作	002	382-2215	仙台市青葉区2 - 1 - 4
3				
4				

5 4 1 - 1 3 4
53-6774
e.jp
e.jp/~crest/

差し込み印刷（つづき）

3．差し込み印刷を実行します

「印刷」ボタンを選びます。



「印刷開始」ボタンを押します。



上記内容では12枚の封筒が印刷されます。

エフェクトで画像を加工する

「ぼわっとエフェクト」で霧の中状態をつくってみます。

《画像．．．ぼわっとエフェクト》を選びます。

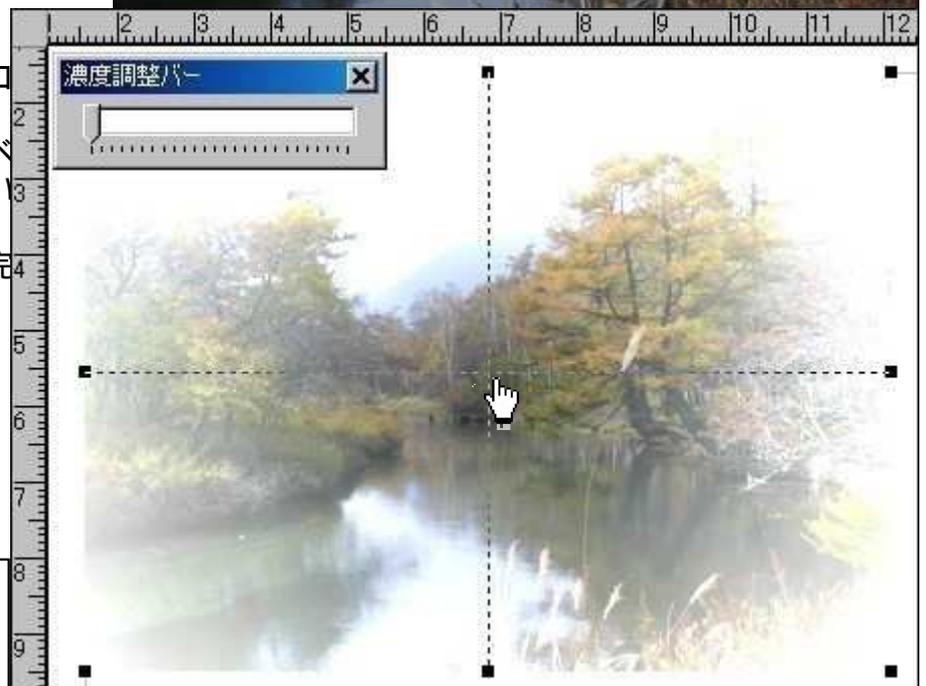


(原画像)



画像内でマウスを押すとクロス線が表示されます。
手の平マウスを移動しながらベストのポイントを捜して下さい。

画像以外をクリックすると完成します。



ヒント
濃度調整バーで霧の濃さを調整できます。

マスク画像の作成

花の背景にある緑や黒の部分を透明にしてみます。

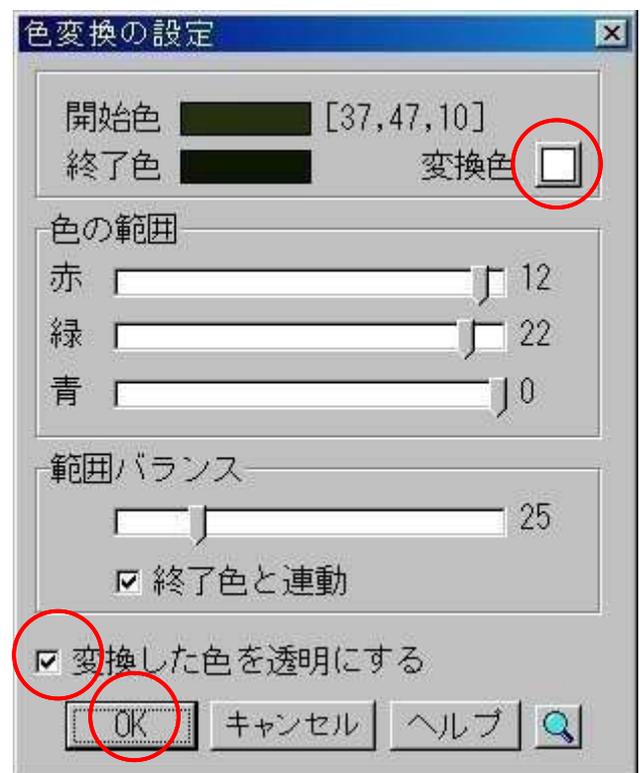


画像に黒子を表示させ画像合成用ツールバー《色を指定色に変換》を選びます。



初期値の開始色、終了色は画像の左上隅の色がセットされています。

この設定で「OK」ボタンを押してみてください。



1回目の結果

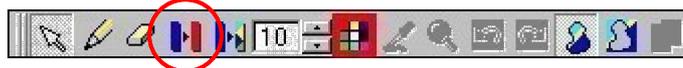
開始色～終了色の範囲が白色に変換され透明となりました。



次ページへつづく

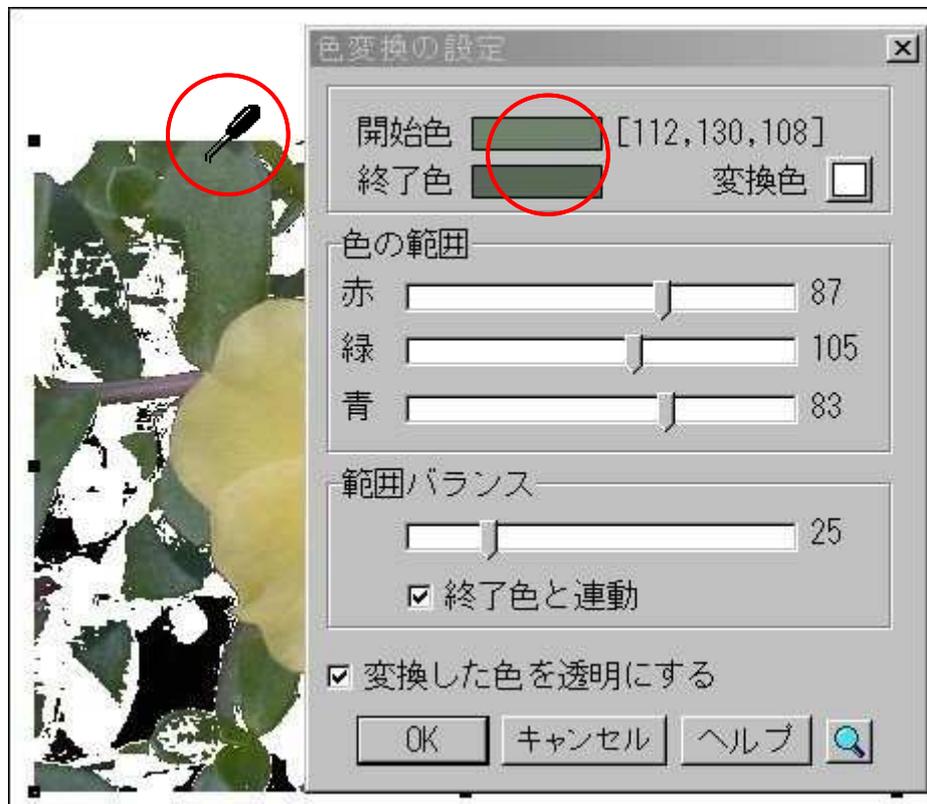
マスク画像の作成（つづき）

画像に黒子を表示させ画像合成用ツールバー《色を指定色に変換》を選びます。



画像にカーソルを移動するとスポイトに変化します。
マウスクリックで開始色が取得され、同時に終了色が決定されます。

ヒント
「色の範囲」や「範囲
バランス」を変更すれば広範囲の色変換が可能となります。



2回目の結果

開始色～終了色の範囲が白色に変換され透明となりました。
これ以降は から繰り返して下さい。



【1回目】



【2回目】

ヒント1

完成したマスク画像はBITMAP保存として下さい。JPEGでは次回表示でゴミが発生します。
《設定... 図形枠の設定... 枠の情報... 保存形式》

ヒント2

今回の例は色数の少ない画像でしたからこの手段でも間に合うかと思えます。
ただし、多色混在画像の場合《色を指定色に変換》では手数がかりすぎてしまいます。
そのような場合は《画像合成（ペン）》を利用し背景色を白色で塗りつぶして下さい。

マスク画像の作成（ペン）

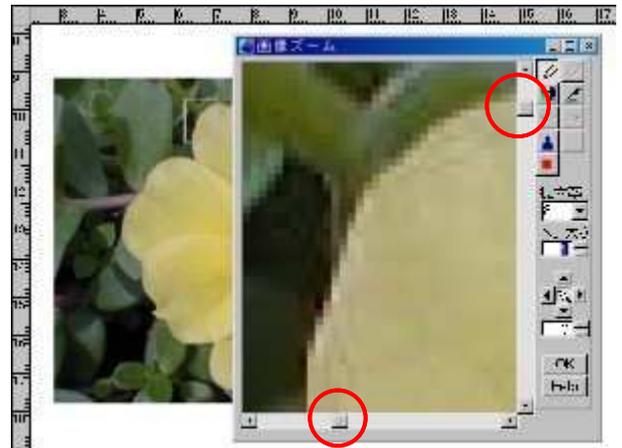
画像に黒子を表示させ画像合成用ツールバー《色を指定色に変換》を選びます。



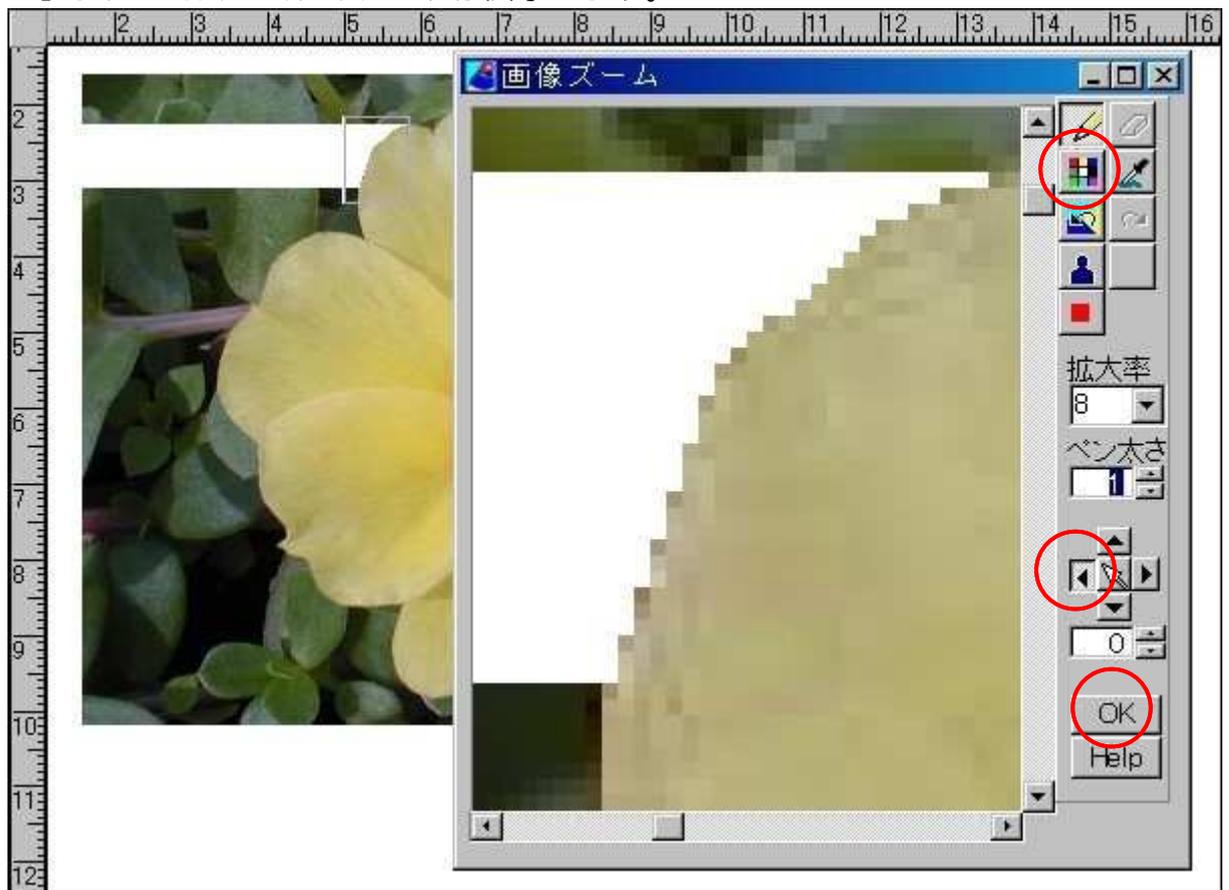
画像合成用ツールバー《ルーペ》を選びます。



拡大画像が表示されますからスクロールバーで位置を決定します。



ペンのカラーを白色、セミオート方向を左とし、マウスクリックで白色化します。
「OK」ボタンでズームダイアログが終了します。



「画像合成の中止・完成」ボタンを押せば完了です。



2枚の画像を合成する

背景となる画像を準備します。



重ねるマスク画像を準備します。
参照・・・「マスク画像の作成」



戦闘機の背景を透明にします。



画像を重ねます。



戦闘機が大きすぎます。縮小して下さい。
参照・・・入門編「画像を拡大・縮小する」



風景画像に黒子を表示させ《編集・・・枠内トリミング》を実行します。
参照・・・「画像や図形をトリミングする・下枠利用」



〔完成縮小画像〕